

The background features a series of concentric circles that create a tunnel-like effect. The colors transition from a deep blue on the left to a bright yellow and green on the right, with a lighter blue circle in the center.

Oriental motor

オリエンタルモーターレポート 2025

Think Motion

あらゆる動きを常に考え、 発想し、解決していく

さまざまな「動き」を実現するモーター。

私たちオリエンタルモーターは産業、医療、食品、交通、物流など、変化する社会ニーズをいち早く捉え、

地球環境の改善、社会や産業の発展に関わり続けています。

このレポートは、「動き」を通してより良い未来を発想し、解決していくオリエンタルモーターグループの

さまざまな取り組みを紹介しています。

オリエンタルモーターが目指す姿

VISION

お客様と
パートナーに

MISSION

モノづくり・販売サポート・製品開発・ヒト

VALUES

ビジョン

お客様と共に生み出したモノ・コトを通じて、誰もが
安心して笑顔で持続的に暮らせる社会を創造すること。

ミッション

今日よりも明日をより良くしたいと願っているエンジニア
に対し、はじめの一步をモーション(ハード、ソフト、ヒト)
で応援すること。モーションを通して想像以上の体験
と驚きを届け、「Wow!」という価値を生み出すこと。

バリュー

私たちオリエンタルモーターは、全社で行動指針
(Values) を共有し、ミッション・ビジョンの実現に
つなげていきます。

Contents

Introduction

オリエンタルモーターが目指す姿／目次	02
トップメッセージ	04
社会課題の解決に向けた価値創造プロセス	06

「動き」を発想する Envision Motion

「動き」のニーズに応える技術・開発	10
製品の安全性・信頼性	14

「動き」を実現する Realize Motion

安定供給と品質保持のための取り組み	18
取引先様との取り組み	21
お客様を支えるサービス・サポート体制	22

「動き」で変えていく Change with Motion

Topic 1 自動化・省力化を叶える ロボット需要への貢献	26
Topic 2 グローバル展開の強みを生かし、 半導体業界のニーズに応える	28

「動く」シーンを環境に優しく

2024 年度の環境活動実績・パフォーマンス	31
2024 年度の環境活動	32

人とともに With People

社員とともに	37
地域社会とともに	42

コーポレートデータ

非財務ハイライト	44
財務ハイライト	46
会社概要	47

報告範囲

オリエンタルモーター株式会社およびグループ会社
を基本としています。

報告期間

2024 年 4 月 1 日～ 2025 年 3 月 31 日

発行時期

2025 年 6 月

挑戦する力とスピードで一步先の価値を創る

2024 年度を振り返って

2024 年度は、半導体製造装置業界を中心に在庫調整局面の回復が見られたほか、海外市場でのビジネスが好調で、2023 年度を上回る売上、利益となりました。さらなる売上拡大を目指す中期経営計画では、2 期目となる 2024 年度には、産業界で急速に進む自動化ニーズに応える新事業として、ロボット事業やセンサ事業の拡大に取り組みました。

また、これまで培ってきたオリエンタルモーターのモノづくり、生産技術力を活かす装置販売事業もスタートしました。こうした新規事業領域の拡大とあわせて、既存事業では国内外のお客様のニーズに、今まで以上のスピード感を持って応える製品開発の実現に向け活動を加速させています。新規事業と既存事業、この両輪を確実に回すことで、さらなる売上拡大を図っていきます。

市場ニーズによりスピーディーに応える

私たちを取り巻く事業環境は、常に変化し続けています。その変化により迅速かつ柔軟に対応するために、2024 年度から組織の在り方や仕事の進め方について、大きくシフトさせてきています。例えば、生産部門の拠点を越えた連携によるモノづくりの推進や、技術部門の製品開発拠点の集約、販売部門では、特にグローバルに市場が拡大する業界の製品開発要望を捉える専門部隊の設置や市場分析・マーケティング部隊の強化などです。お客様の課題、ニーズの点と点を線につなぎ、スピーディーな製品開発につなげ、市場のニーズにこれまで以上に早く応えていきます。

モーションを通じてお客様課題に貢献

2023 年度に新人事制度がスタートしてから 2 年、社員一人ひとりが自身のスキルを高めていくための環境整備をはじめ、個性やスキルをどのように業務に生かしていけるかをより見通せる風土が醸成されつつあります。さらに、新たな組織体制の真価を発揮していくにあたって、これまでに経験したことのない取り組みにも果敢に挑戦する姿勢が求められます。

社会が目まぐるしく変化する中でも、「動き」そのものの価値やニーズが失われることはありません。人材確保や生産性・品質向上、また環境配慮といった複雑化するお客様の課題に、

モーションを通じていかに柔軟かつスピーディに応えていけるか。初めの一步を支える小さな「動き」から、連動するダイナミックな「動き」までを担うモーションシステムメーカーとして、想像以上の体験と驚きを届け、世界中のビジネスを支え続けていきます。

代表取締役執行役員社長

川人英二

「動き」を発想する

Envision Motion

「動き」を実現する

Realize Motion

社会課題の 価値創造 解決に向けた プロセス

オリエンタルモーターは、変化する
「動き」を通してより良い未来を発想

社会のニーズをいち早く捉え、
し、社会課題の解決に貢献します。

「動き」で変えていく

Change with Motion

「動き」を発想する

Envision Motion

設計・開発

オリエンタルモーターは、幅広いニーズを的確にとらえ、お客様が求めるさまざまなモーションを実現する製品を研究・開発しています。進化し続ける技術開発と豊富な製品バリエーションで、これからも幅広い分野への貢献を目指していきます。

高出力

高効率

高精度

小型化

安全性

信頼性

長寿命

デザイン

低振動
低騒音
低発熱

操作性

標準化

環境

「動き」のニーズに応える 技術・開発

2024年度のピックアップ製品



モバイルロボットコントローラ MVC01

- ・搬送ロボット AGV/AMR の走行制御機能を搭載
- ・専用 PC ソフトで立ち上げからメンテナンスまでをサポート
- ・IMU による正確な位置情報取得によりスリップを検知
- ・設計に組み込みやすいコンパクトサイズ



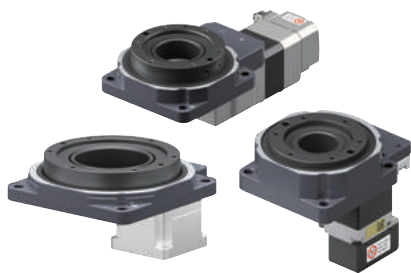
ロボットコントローラ用ティーチングペンダント TPW01

- ・タッチパネルで直感的にロボットを操作
- ・MRC01 との接続は、EtherNet/IP™ 通信で有線 / 無線接続
- ・Windows® 10 IoT Enterprise LTSC 搭載



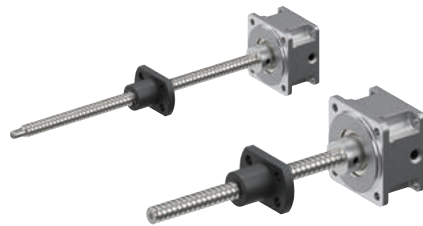
サーボモーター AZX シリーズ 750W ラインアップ追加

- ・バッテリーレスアブソリュートセンサ搭載
- ・EtherCAT、EtherNet/IP、PROFINET 対応
- ・機能安全の認証を取得 [SIL 3/PL e (Category 3)]
- ・GR、FR ギヤードタイプ追加



中空ロータリーアクチュエータ DG IIシリーズ ラインアップ追加

- ・モーター横方向に薄型タイプを追加
- ・モーター縦方向 取付角 60mm に
クロスローラベアリングの追加
- ・サーボモーターとの組み合わせの追加



LA アタッチメント

- ・モーターに組み付けて直線動作を実現
- ・すべりねじと耐摩耗性の高い樹脂ナットを採用
- ・取付角寸法 30/42mm、
ストローク 50 ~ 300mm
- ・推力、セルフロック力 最大 100N
(取付角寸法 42mm)

※ EtherNet/IP™ は ODVA の商標です。
※ EtherCAT® は Beckhoff Automation GmbH (ドイツ) よりライセンスを受けた特許取得済み技術であり、登録商標です。
※ PROFINET は、PROFIBUS Nutzerorganisation e.V. (PNO) の商標または登録商標です。

2024年度の ピックアップ技術

ピックアップ技術1

αSTEP AZ シリーズ 直交軸 FC ギヤードタイプ 取付角寸法 35mm

αSTEP AZ シリーズ 直交軸 FC ギヤードタイプ は、「フェースギヤ」を採用した小型の直交軸ギヤードモーターです。負荷軸に対してモーターを直角に配置することができるため、装置からのモーターの張り出しを抑え、省スペース・小型化を実現します。

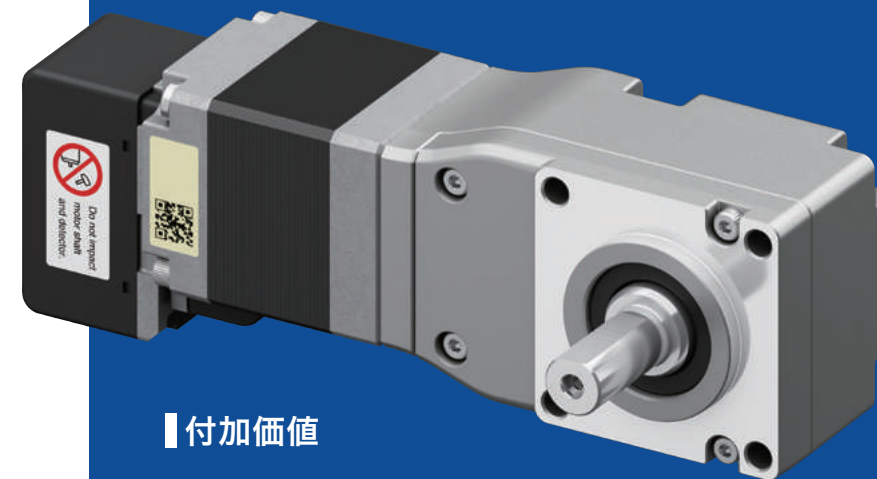
これまで、αSTEP AZ シリーズ 直交軸 FC ギヤードタイプは、取付角寸法 42mm、60 mmをラインアップしてきましたが、市場でさらに高まる「省スペース・小型化」のニーズに応え、業界最小サイズ※の取付角寸法 35mm を発売しました。

※ 2023 年 10 月発売時点の当社調べ

「2024年 “超”モノづくり部品大賞」 電気・電子部品賞を受賞

αSTEP AZ シリーズ 直交軸 FC ギヤードタイプ 取付角寸法 35mm は、モノづくり日本会議と日刊工業新聞社主催の「2024 年 “超”モノづくり部品大賞」において電気・電子部品賞を受賞しました。

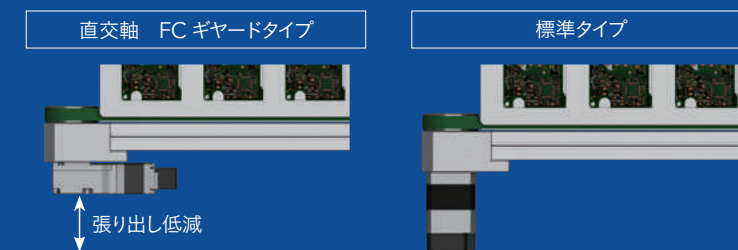
業界最小サイズ※で、「フェースギヤ」の歯当たり調整方法にも工夫を取り入れ、位置決め精度の向上も実現し、市場でさらに高まる「省スペース・小型化」のニーズに対応した製品として受賞することができました。今後お客様の多様なニーズに応える製品開発に取り組んでいきます。



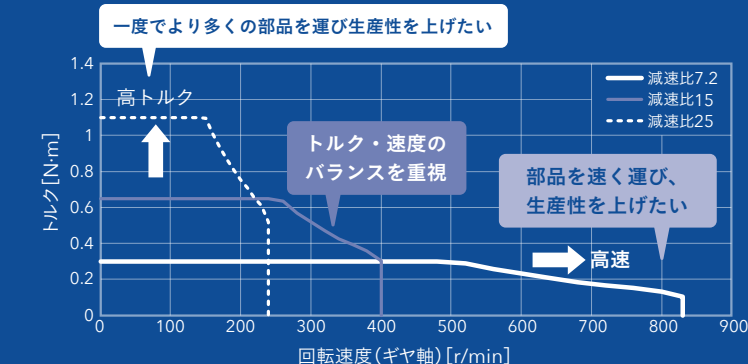
付加価値

- モーターの張り出しを低減

小型・省スペース

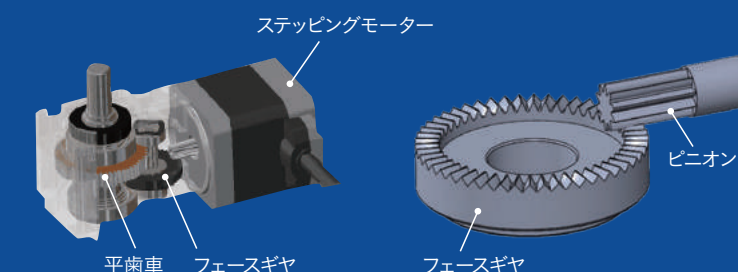


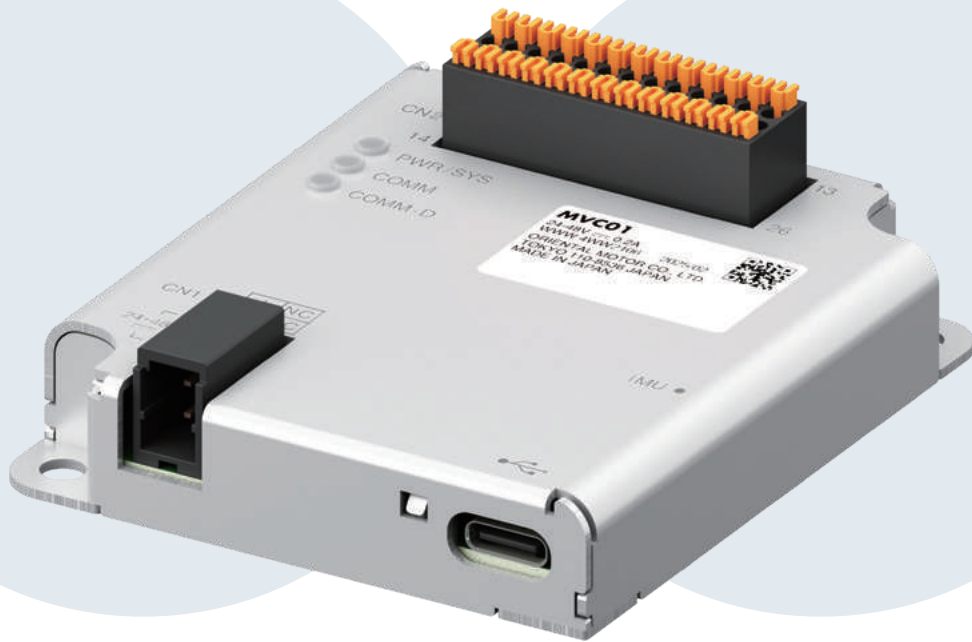
- 高トルクで幅広いトルク帯に対応



小型フェースギヤの開発

FC ギヤードタイプは、フェースギヤ（円盤状の歯車）と平歯車で構成された直交軸タイプのギヤです。当社独自の高精度加工によりフェースギヤの小型化、高強度化に成功し、バックラッシュを抑えた小型直交軸を実現しました。



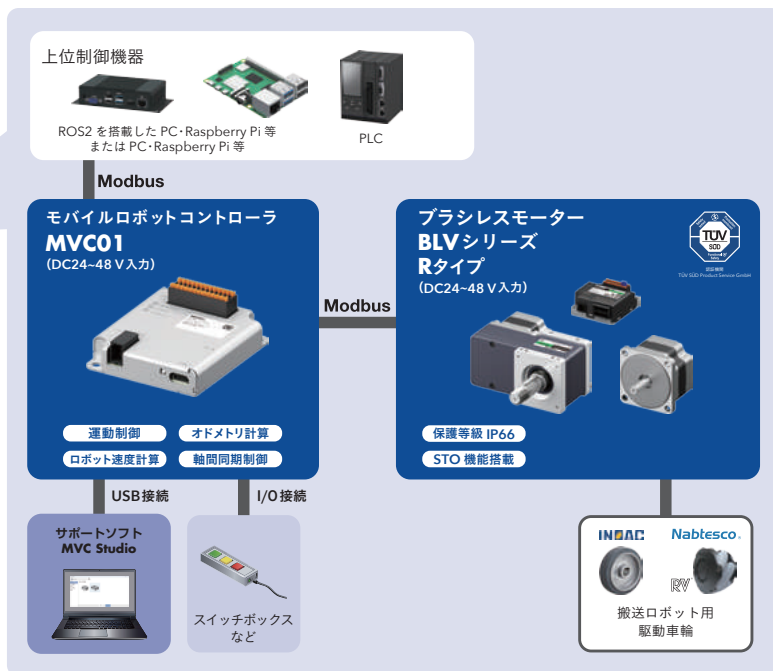
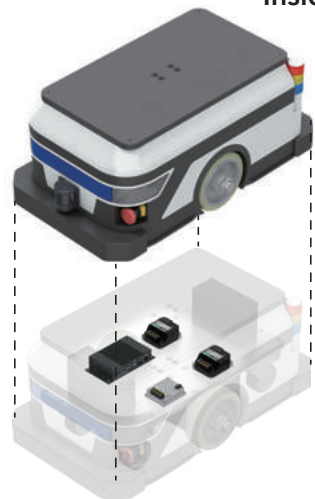


ピックアップ技術2

モバイルロボットコントローラ MVC01

少子高齢化による労働人口の減少に伴い、生産現場における自動化、省人化の課題は高まり、中でも、人が行ってきた単純作業や搬送の自動化が求められています。搬送の自動化への貢献として、AGV/AMRの制御をはじめ、搬送ロボットの技術開発に取り組んでいます。

Inside!



製品概要

モバイルコントローラ **MVC01** は、上位制御機器からの指令に基づいて搬送ロボットのモーターを制御します。複数のブラシレスモーター **BLV** シリーズ **R** タイプを制御することができます。慣性計測ユニット (IMU) を内蔵することで高精度な位置情報 (ジャイロオドメトリデータ) を出力できます。

付加価値・技術力

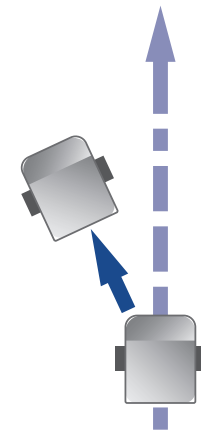
走行制御機能搭載

MVC01 は、搬送ロボットの走行に必要な走行制御機能を搭載しています。搬送ロボットは、センサなどからロボットの「動き」を決定し、動作させます。この際に、搬送ロボットの「動き」を各車輪のモーターの「動き」に変える必要があります。これには、搬送ロボットの車輪の形状や車輪の取り付け位置、ギヤ比など多くの要素をもとに決める必要があります。

MVC01 では、上記の項目を UI で分かりやすく設定できるようになっており、設定内容に応じて制御を行っています。そのため、モーターの制御を意識することなく動作させることが可能です。また、ブラシレスモーター **BLV** シリーズ **R** タイプを組み合わせ対応しており、ID シェアモードで制御しているため、同期性の高い動作が実現しています。上記の機能を **MVC01** が担うため、搬送ロボットのソフトウェア開発の負担が軽減し、より上位アプリケーションに注力することが可能です。

正確な位置情報の出力

IMU による、正確な位置情報 (ジャイロオドメトリデータ) を出力できます。ジャイロオドメトリとは、IMU とモーターのエンコーダ情報からロボットの位置情報を算出する手法です。IMU を内蔵することで、搬送ロボットの実際の加速度や角速度をモニタすることが可能となっており、姿勢や動きなどをモーターの動きにとらわれることなく、監視することができます。また、不安定な場所を走行する場合、スリップなどによって実際のロボットと位置情報に誤差が生じやすくなります。その際に、ジャイロオドメトリデータを上位機器で取得することで、車輪が滑りやすい場所でも、高精度な位置情報を基準に走行することが実現できます。



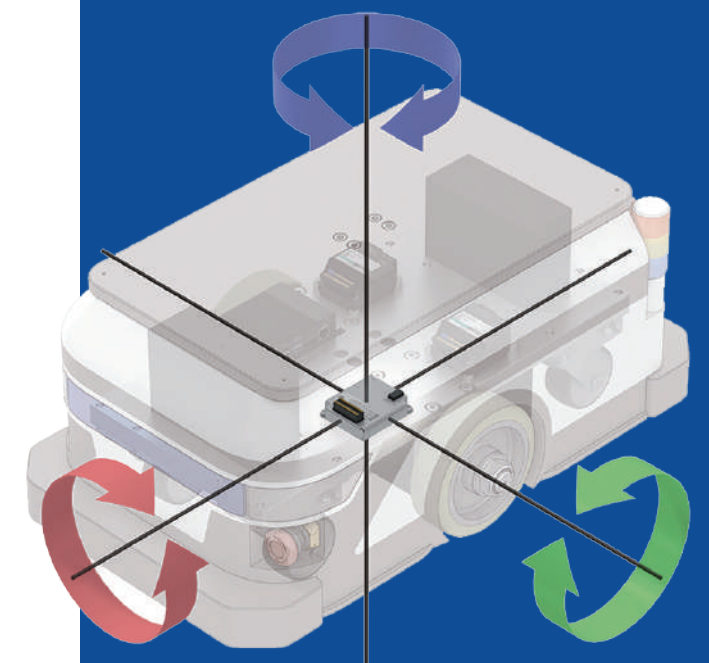
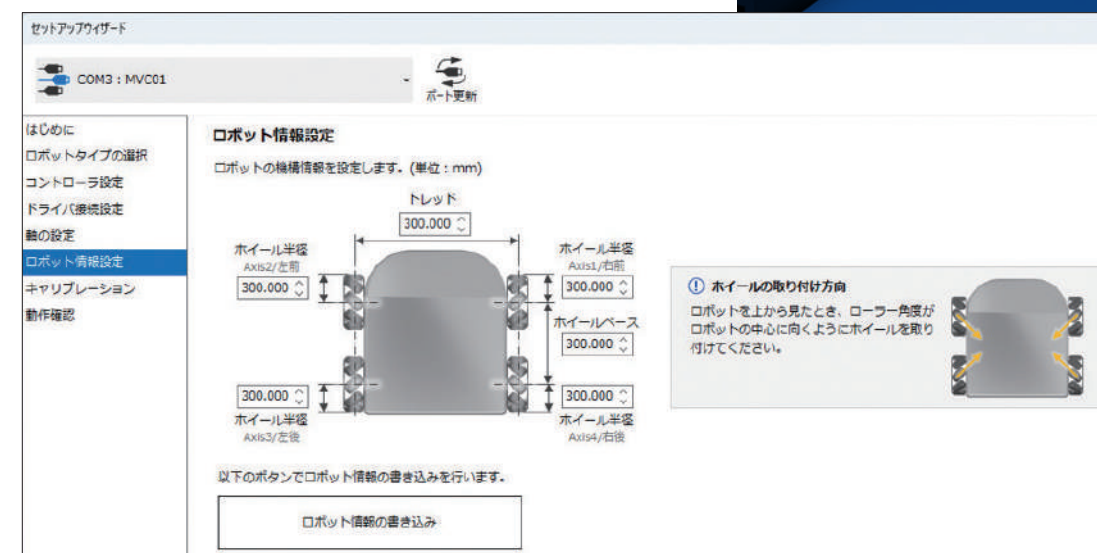
■ 実際のロボット
■ 走行ルート

位置 (ホイールオドメトリ)			
X	0.000 m	Y	0.000 m
角度 (θ)	0.000000 rad		
位置 (ジャイロオドメトリ)			
X	0.000 mm	Y	0.000 mm
角度 (θ)	0.051299 rad		

高精度な位置情報を出力

車輪、駆動方式のカスタマイズ性向上

走行制御のモジュール化による車輪や駆動方式などのカスタマイズ性が向上します。ロボットのタイプや車輪の大きさ、機構情報を変更することができ、お客様の搬送ロボットに合わせた設定ができます。また、**MVC01** では駆動車輪用モーターも対応しているため、足回りの機構設計負荷を軽減することもできます。



慣性計測ユニット (IMU)

加速度センサとジャイロセンサを合わせたセンサ。3次元の慣性運動 (直交3軸方向の並進運動と回転運動) を検出する。

製品の 安全性・信頼性

製品を安心してお使いいただくために、安全性・信頼性を評価する試験体制構築や規格開発活動に取り組んでいます。

製品の安全性と試験体制

当社製品は、欧州、北米、アジアをはじめとする世界の主要な安全規格・法令に適合しています。その安全性をより確かなものにするために、つくば事業所に製品安全試験所と EMC 試験センターを設けています。公正かつ客観的な試験を中立な立場で実施するために、事業部門から独立した試験所として国際規格 ISO/IEC 17025 試験所マネジメントシステムによって管理されています。

製品安全試験所は、第三者認証機関である VDE 及び UL (Underwriters Laboratories) の認定試験所としても登録されています。ここではモーター規格 IEC 60034-1、UL 1004-1、ドライバ規格 UL 61800-5-1、情報技術機器規格 IEC 62368-1 など 38 種類の安全規格、234 種類の試験の認定を取得しています。当社の幅広い第三者認証取得製品を

社内で試験でき、部品や材料の変更などにも迅速に対応できます。

製品の電磁ノイズに関する特性を試験する EMC 試験センターには、当社製品の設計を熟知した EMC 試験エンジニアが常駐しています。自社で EMC 試験施設を運用することで、試験及び解析の技術が継続的に蓄積されています。また、測定の不確かさを低減するさまざまな取り組みによって高い再現性が確保され、正確な試験が可能です。

製品安全試験所と EMC 試験センターは、短期間での新商品開発はもちろん、製品の安定供給をも支えています。

安全性・信頼性に関する規格開発への貢献

オリエンタルモーターは、高度な自動化の一端を担う製品を提供する企業として、安全・安心な社会の構築に責任があると考えています。以下をはじめ安全性・信頼性に関する規格開発への貢献を通して、自動化による社会課題の解決を支え、とともに当社製品の安全性・信頼性向上に役立てています。

電気安全分野：UL 1004 シリーズ
(回転電気機械の安全規格)

機能安全分野：IEC 61508 (機能安全)
ISO/IEC TR 5469 (機能安全と AI システム)

総合信頼性分野：IEC/TC 56 Dependability
総合信頼性 JIS 素案作成委員会

信頼性を高めるための環境試験

当社製品は、お客様のさまざまな環境で使用されるため、使用環境、使用条件などに起因し、製品寿命が全うできず返却されるケースがあります。そのため、新製品の開発において、お客様の使用環境を想定した温度・湿度・振動などの条件における環境試験を行い信頼性が確認された製品をリリースしています。

また、製品の故障に関して調査解析により原理原則に基づいた原因・故障メカニズムを解明し製品改善に努めています。この活動は、つくば事業所の信頼性技術センターで、専任技術者が行い、信頼性の高い製品開発に生かしています。



信頼性技術センター

主な所有評価設備



三次元座標測定機
画像測定機
真円度測定機
表面粗さ輪郭形状測定機



実体顕微鏡
金属顕微鏡
走査型電子顕微鏡 (SEM)
蛍光 X 線分析装置 (EDX)
赤外分光光度計 (FT-IR)



複合環境試験機
冷熱衝撃試験機
高度加速寿命試験機 (HAST)
塩水噴霧試験機
恒温恒湿槽
精密万能試験機
落下試験機
小型低温恒温槽



製品安全試験所



EMC試験センター



走査型電子顕微鏡 (SEM)



複合環境試験機

「動き」を実現する

Realize Motion

生産・販売

品質方針

オリエンタルモーターは、お客様のニーズを捉えた製品の開発および標準化に取り組み、安定したモノづくりと、全員がそれぞれの役割に応じた改善活動を継続することで品質向上に邁進します。

1. 継続的な改善

全ての社員が、品質の重要性を認識し、それぞれの職場における円滑な PDCA サイクルを通して、継続的な改善を実施します。

2. 顧客満足

お客様の声に耳を傾け、それらを商品やサービスの改善に結びつけ、お客様の満足度向上を目指します。

3. 法令等の遵守

法規制をはじめとする社会的要求事項やお客様・取引先様などとの合意事項を遵守します。

4. 品質教育

品質教育と社員の創意・工夫を重視し、さらなる技能の習得と品質改善に努めます。

以上を実現するため、品質マネジメントシステムを構築・運用し、継続的な改善に努めます。

制定日：1994年1月6日
改定日：2023年4月1日

安定供給と品質保持のための取り組み

安定供給の実現に向けて

社会環境の変化に対応し、どのような状況下でもお客様の手元に安定して製品をお届けするために、生産能力の強化に努めています。

5年間で生産性を142%に

2023 年度より生産部門全体で「2028 年度の実現能力を2019 年度比で 155% にする」という数値目標を掲げ、①自動化の推進 ②生産工程の最適化 ③TPM活動に注力してきました。

自動化の推進では、既存設備に対して簡単に取り付け可能な、自社製品＝小型多関節ロボットアームと簡単にプログラミングできるロボットコントローラを利用し、シンプルで薄型構造の「簡易自動化」をラインの要所に組み込み、生産効率向上と品質向上の同時達成を実現しています。

これらの活動は生産性の向上だけでなく、設備の立ち上げを通して若手の育成やノウハウの蓄積にもなり、その結果、新しい製品の立ち上げ・安定供給が可能となる良い循環につながっています。生産工程の最適化では流れの見直しの活動を継続的に実施。工程間や準備工程での整流を意識し、モノの滞留やムダ作業の削減を行っています。

近年取り組んできた TPM 活動も各拠点に定着しつつあります。昨年高松カンパニー（香西事業所・国分寺事業所）が公益社団法人日本プラントメンテナンス協会主催の「TPM 優秀賞カテゴリー A」を受賞した後、今まで取り組んできた改善活動を、社外の「ものづくり・現場力事例フェア」や「TPM レディース大会」などで紹介し、他社との交流を重ねてきました。他社の良いところを自社に取り込み、さらなるロスの低減と生産性向上につなげています。これらの活動の結果、2024 年度の実現能力は 2019 年度の 142%に向上しています。

生産性向上

社内製品による内製設備立上げ

若手技術者育成

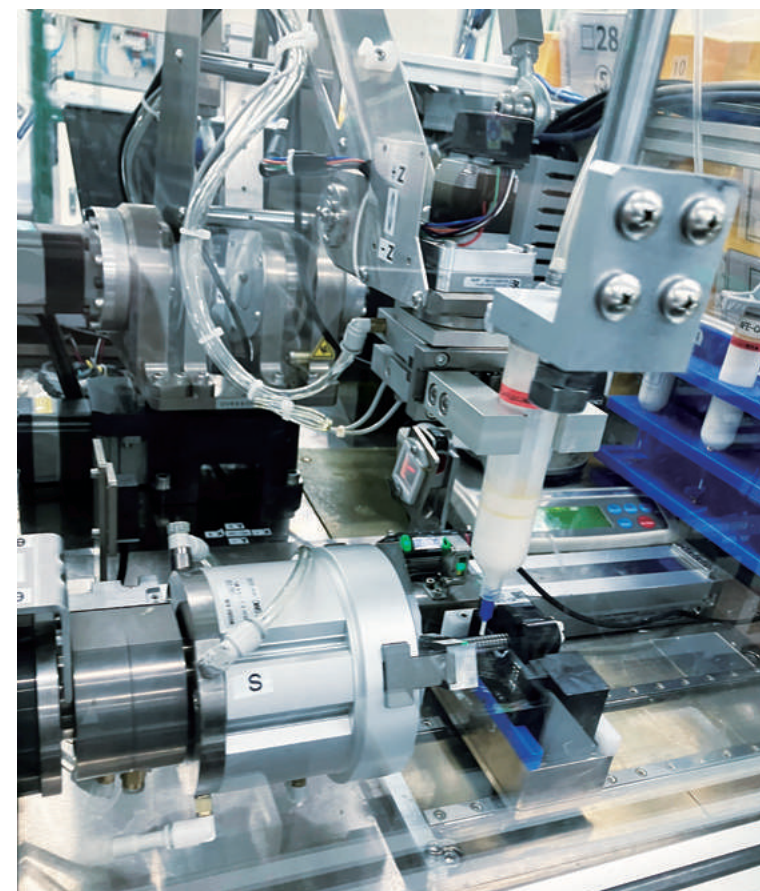
製品へ
ノウハウフィードバック

自動化事例 1 グリス塗布装置

内製ロボットである中空ロータリーアクチュエータとチャック機構を使用してワークを保持。これまで手作業で行っていたグリス塗布を数値化することで内製ロボットでの塗布に置き換え、画像検査を行うことで塗布したことを保証しています。

この事例は、グリス馴染ませ作業を自動化することにより、グリス塗布を工程内でのプロセス保証に置き換えることを可能にしたものになります。従来の手作業を自動化したことで、グリス塗布量のバラつきも安定し、今後も幅広い用途での横展開が可能です。

グリス塗布装置の
動画はこちら



内製ロボットによるグリス塗布(土浦)

自動化事例 2 ワーク搬送

電動スライダで加工後のワークを搬送し、アクチュエータを使用した機構で、ワークの向きを表裏反転しています。内製ロボットとチャック機構によりワークを洗浄機内へセット。洗浄完了後にワークを取り出し、コンベアにて搬送します。

この事例は、人による洗浄工程を廃止することで活人化とサイクルタイム・リードタイム短縮を実現したものです。洗浄機への着脱を機械化したことで落下などのミスをなくすことが可能になったとともに、既存設備に後付けが可能のため、さまざまな用途での活用が可能になっています。



内製ロボットによるワーク搬送(能代)

生産技術を支える技能集団

オリエンタルモーターが提供する精密小型モーター、そのモーターを構成する部品そのものにも精密さが求められます。精密な部品加工のため、建物や空調が整備された工場内にさまざまな高精度加工設備があります。しかし整った環境と高精度加工設備だけでは、精密な部品は生まれません。それらを使いこなす技術を持った人材が必要です。社内では、人材育成として幅広い知識と技能が必要な国家資格である「技能士」

取得を奨励しています。加工職場の約 7 割の社員が、何らかの技能検定に合格し技能士となっています。良質で整った環境と高精度な加工設備、そして設備を使いこなす人材がそろい、オリエンタルモーターの精密な部品が加工されています。

また設備の維持管理活動に関する資格である「自主保全士」の資格もモノづくり部門の約半数の社員が所持しています。特に昨年 TPM 賞を取得した高松カンパニーでは約 7 割が自主保全士の資格を持っており、設備をより良く使う知識の向上に役立っています。

2024 年度 「技能士」在籍数

(単位：人)

職種	作業	特級	1 級	2 級	3 級	合計
機械加工		3	-	-	-	3
	普通旋盤	-	1	6	2	9
	数値制御旋盤	-	8	24	6	38
	ホブ盤	-		7		7
	マシニングセンタ	-	6	6	3	15
非接触除去加工	数値制御フライス盤	-		1		1
	ワイヤ放電加工	-	2	1		3
ダイカスト		3	-	-	-	3
	コールドチャンバーダイカスト	-	6	10		16
プラスチック成形	射出成形	-		1		1
金属熱処理	一般熱処理	-	4	10		14
	浸炭・浸炭窒化・窒化处理	-	3	2		5
	高周波・炎熱処理	-	1	4		5
機械保全		2	-	-	-	2
	機械系保全	-	33	112	21	166
	電気系保全	-	4	30		34
	設備診断	-	3	6		9
機械検査	機械検査	-		7	100	107
合計		8	71	227	132	438

2024 年度 「自主保全士」在籍数

(単位：人)

	1 級	2 級	合計
資格取得者数	178	219	397

取引先様との
取り組み

調達の基本方針

安定供給を継続し、環境保全に配慮した資材調達を行うためには、取引先様との協力体制が不可欠です。法規制をはじめとする社会的要求を満たし、取引先様との合意事項を順守し、最適な取引を継続していきます。

法令・社会規範の順守	商取引に関する法規を順守し、調達活動を行います。また、取引に関する機密情報は、許可なく第三者へ開示いたしません。
公正かつ公平な取引	地域・規模・実績の有無を問わず、取引先様に対して公正かつ公平な参入機会を提供します。取引先様と対等な立場で取引を行うことで、継続的な協力関係を構築し、相互の存続・発展を目指します。
グリーン調達の推進	環境保全に配慮し、製品含有化学物質の法規制に対応した管理、運営を定め「有害物を入れない、使わない、出さない」ための活動を行います。そのため、取引先様にも製品含有化学物質管理体制の構築をお願いしています。
総合的な判断による最適な取引	品質、納期、コスト、安定供給力、技術開発力、経営の安定性を総合的に判断して取引を行います。
紛争鉱物を使用しない取引	コンゴ民主共和国またはその周辺諸国で人権侵害を行う武装勢力の資金源となる紛争鉱物（タンタル、スズ、タングステン、金）について、取引先様のご協力のもと調査を実施し、不使用に向けた取り組みを行います。

国際調達の推進

市場環境はグローバルかつスピーディーに変化しています。取引先様との連携による供給力向上と並行し、国際調達を推進します。海外現地法人を中継地点とし、直接対話を行い、現地で品質保証された部品を安定的に供給できる体制を目指します。

取引先様とのコミュニケーション

- 対話、情報交流による継続的な協力関係を構築
- 品質改善、納期改善、原価低減を行う際、取引先様の現場に赴き、現地・現物をもとに対話を重ねる
- 取引先様の企業価値向上も目指すコミュニケーション
- より良い製品開発を目的とした技術交流の実施
- オンラインの活用



広州オリエンタルモーターで行う品質検査



技術交流会の様子



お客様を支えるサービス・サポート体制

多様なチャネルで最適なサービスを提供

対面や電話対応と併せて、WEB サイト、オンラインなどを活用し、お客様の状況に応じた最適なサービス提供に取り組んでいます。

- WEB サイト
- セミナー
- e ラーニング
- お客様ご相談センター
- フィールドサービス
- 選定サポート

お客様が求めるモーションを確実に実現し、装置の立ち上げを迅速かつスムーズに行うため、新たに有償サポートを開始しました。従来までのお客様ご相談センター・技術セミナー・フィールドサービスなどの無償サービスに加え、モーターを制御するためのプログラムサポート、配線や設定に関するセットアップサポート、モーターの交換や故障時の緊急復旧サポートなど、導入から運用・保守まで一貫したサポートを提供しています。経験豊富なエンジニアが現場の状況に応じた適切なアドバイスをを行い、装置のスムーズな立ち上げと運用をサポートし、技術的な課題を速やかに解決してトラブルの未然防止と安定した装置稼働に貢献します。この一貫したサポートによって生産性の向上、設備の長寿命化と運用コストを最適化し、お客様の装置が常に最大限のパフォーマンスを発揮できるようなサポートの提供を今後も継続していきます。

展示会での最新情報の発信

省人化、自動化、生産性向上などのお客様の課題に対して、2024 年度も展示会への出展を通じて、その解決策をご提案しました。

2023 年度からロボット内製提案を行ってきましたが、2024 年度からは、実例として当社の圧入やねじ締め、液体塗布などの社内設備を展示し、自動化のヒントにいただきました。

2024 年度に出展した展示会としては、機械要素技術展のほか、ロボットテクノロジージャパンやファーマDXなど、業界に特化した展示会にも出展しました。

また、“New Motion New Value 新たな動きで、新たな価値を”をテーマに、ロボット内製提案や開発品を出展したプライベート展示会「オリエンタルモーターフェア」も開催しました。8 年ぶりの開催となった福山会場のほか、伊勢崎、金沢、浜松の各会場には多くのお客様にご来場いただきました。



福山オリエンタルモーターフェア



2024 年度 展示会への主な出展実績

開催地		展示会名
日本	東京	東京機械要素技術展
	名古屋	ロボットテクノロジージャパン 2024
	大阪	関西機械要素技術展
	福岡	モノづくりフェア九州 2024
	大阪	ファーマ DX EXPO 大阪
アメリカ	Boston	Robotics Summit
	Chicago	Automate 2024
	Santa Clara	RoboBusiness
	Chicago	PACK EXPO International 2024
イタリア	Parma	SPS Italia
	Bologna	MECSPE Bologna 2025
ドイツ	Jena	W3+ Fair Jena
	Duesseldorf	all about automation
	Nuremberg	SPS 2024 Nuremberg
中国	深圳	深圳華南国際産業博覧会 (SCIIF)
	上海	中国国際工業博覧会 (IAS)
台湾	台北	productronica China 2025
	台北/台南/新竹	Taipei Automation 2024
マレーシア	Kuala Lumpur	2025 Motor Fair
タイ	Bangkok	Metaltech 2024
ベトナム	Ho Chi Minh City	Manufacturing Expo 2024 タイ
インド	Delhi	MTA Vietnam 2024
	Mumbai	Amtex 2024
インドネシア	Jakarta	Automation Expo 2024
		Manufacturing Indonesia 2024

2024 年度 プライベート展示会 「オリエンタルモーターフェア」開催実績

開催地	開催日	来場者数
伊勢崎	7 月 26 日	300 人
金沢	10 月 22 日	324 人
浜松	11 月 15 日	473 人
福山	11 月 26 日	336 人



お客様の最適な「モーション」を実現するために

世界中のお客様が、「こんな動きをつくりたい」「こんなことができたなら」と感じたとき、
私たちオリエンタルモーターの製品バリエーションが、お客様の課題解決にお応えしていきます。

「動き」で変えていく

Change with Motion

課題解決・価値創造

自動化

生産性向上

科学発展

高効率
・
省資源

安全・安心

自動化・省力化を叶える ロボット需要への貢献

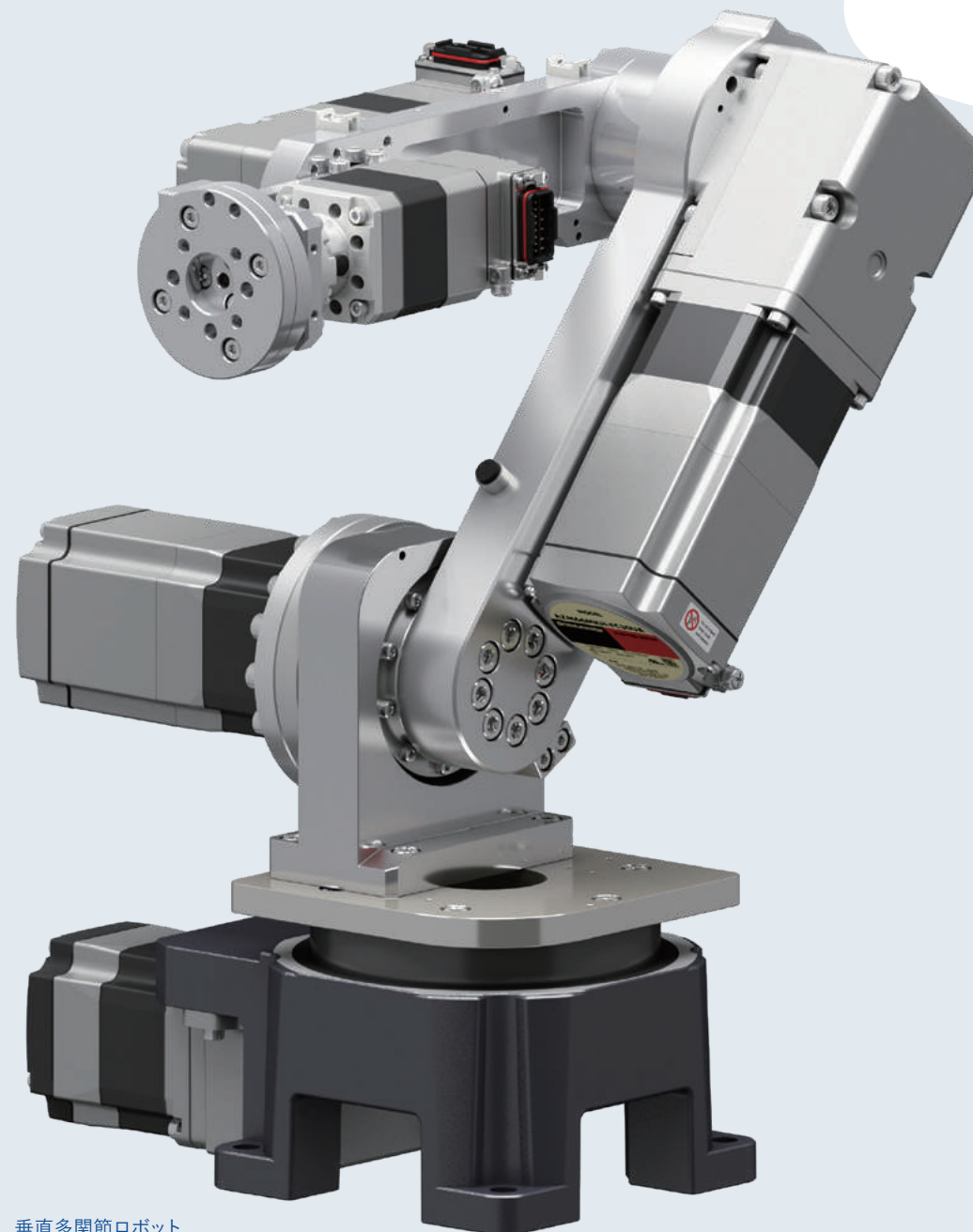


仙台支店 主任
重野 貴史

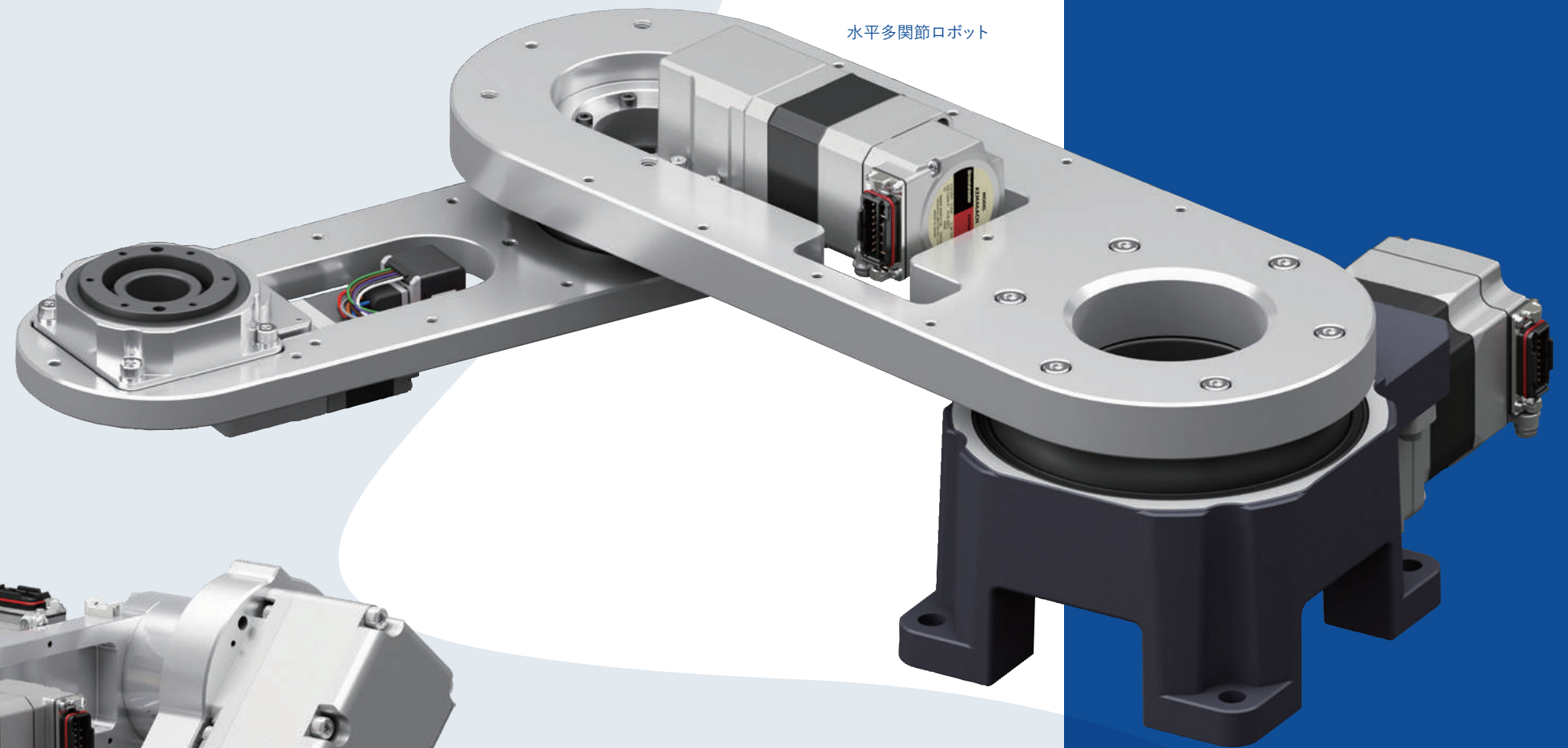
2009年入社。技術設計職に4年間、営業技術職に10年間従事し、2023年より営業職として仙台支店に所属。

より多くのお客様の課題解決に 貢献するために

さまざまな業界で人手不足や技能継承の課題が深刻化する中、特に製造業においては、持続的な生産体制の構築に向けて自動化の必要性が一層高まっています。一方で、一般的な産業用ロボットは大型で重量物の搬送には適しているものの、小型、軽量物の搬送にはオーバースペックとなる場合があり、コスト面を含め導入のハードルが高いという課題があります。こうした課題解決に貢献するため、2024年6月からこれまで関連会社で行っていた小型ロボット **OVR** の販売をオリエンタルモーターでも開始し、グループ全体で自動化・省人化への取り組みを強化してきました。



垂直多関節ロボット



水平多関節ロボット

デモ機を用いた提案で リアルな使用感を伝える

小型ロボット **OVR** は、小型かつ軽量で、一般的な産業用ロボットに比べ低コストでの導入・管理が可能です。比較的安価とはいえ、お客様にとっては大きな設備投資となるため、十分に機能や使い方をご理解いただいた上で導入いただけるよう、実機を用いた提案を徹底してきました。代理店と連携しながらお客様が抱える課題やご要望を把握し、お客様のもとに直接訪問して、出張展示会を定期的に実施。ロボットのサイズ感をはじめ、操作性やプログラム設計の使いやすさなどを体感していただきました。技術部門の社員も同行し、装置設計のご相談にもよりスムーズにお応えできるようなサポートも行っています。



お客様のもとへ出向いて実施する出張展示会

最適なソリューションを届けるために

製品の魅力をより多くのお客様に届けるため、代理店と一体となった活動にも注力しました。代理店の製品理解を深めるためのオンライン勉強会の実施や、製品拡販キャンペーン活動などに積極的に取り組みました。

今後も、お客様のニーズや市場動向を的確に捉えたソリューション提案の強化とともに、製造業における自動化・省人化といった課題の解決に貢献していきます。



ロボット需要に応える新製品

グローバル展開の強みを生かし、 半導体業界のニーズに応える



海外営業部 主任
荒田 誠和

2013年入社。国内で営業職を経験した後、2018年より3年間U.S.A.に駐在。2021年から静岡営業所の所長を務め、2024年8月より海外営業部で各現地法人のサポートに従事。

オリエンタルモーターはグローバルに現地法人を設け、各地域のお客様、市場のニーズを捉えながら営業活動を展開しています。

私たち海外営業部では、各現地法人の活動を俯瞰しながら、グローバル展開のシナジーを最大化できるようサポートしています。

技術交流会で得られたお客様の声を 製品開発に生かす

AIや自動運転技術などデジタル技術が進化する昨今。半導体産業は社会の発展と密接に関係しており、グローバルに右肩上がりの市場になることが予想されています。オリエンタルモーターでは、その半導体の製造現場を支える世界の半導体製造装置の「動き」への貢献も目指しています。多様化するお客様の課題を解決していくためには、標準品にとどまらない製品のスピーディーな開発が求められます。

そこで2024年度は、技術開発メンバーが、日本に加え、U.S.A.、ヨーロッパ、中国、台湾、シンガポールに赴き、各地域の半導体製造装置業界のお客様との「技術交流会」を実施しました。コロナ禍以前も近いヒアリングの機会は設けていましたが、「技術交流会」として、お客様エンジニアの方と闊達なコミュニケーションの場を設けたことは初めてです。お客様の声を開発に生かすために、必要に応じてオンラインでの交流会も取り入れながら、必要とされる具体的な機能を確認し、潜在化している要望まで汲み取ることを目指しました。各地域のお客様の声を横断的に整理・分析することで、共通する課題を明確化し、効率的かつ迅速な製品開発に取り組むことができました。



大規模研修センターに モーター体験コーナーを設置

オリエンタルモーターの製品やサービスを、グローバルにより多くのお客様により深く知っていただくための取り組みも強化してきました。その一環として、台湾のお客様の大規模な新人研修センターに、オリエンタルモーターのモーター体験コーナーと展示パネルの設置を進めています。この研修センターでは、年間を通して大変多くの社員が研修を受け、世界各地の製造拠点へと配属されていきます。体験コーナーでは、実際に製品に触れて操作性を確認できるデモ機や、製品の振動の違いを体感できるデモ機の設置のほか、実際に製造現場で求められるトラブルシューティングを体験いただける、トラブルシューティング用のデモ機も設置し、製造現場の生産性向上への貢献も目指しています。

導入事例の発信強化で グローバルな提案力を拡大

オリエンタルモーターの製品やその魅力をより多くのお客様に届けるために、WEBサイトを活用した情報発信にも注力しています。中国現地法人では、半導体業界におけるさまざまな製品導入事例のコンテンツを大幅に追加しました。コンテンツでは、CGを活用した動画を用いて、製品導入の効果がより具体的にイメージできるよう工夫を行いました。これらのコンテンツはお客様からの多くの反響をいただき、2024年度下期からは医療機器業界や電子部品業界向けにも拡大しています。

今後も各地域での技術交流会や導入事例のコンテンツ化などの動きを加速させ、グローバルな事業展開による相乗効果を最大限に生かしながら、世界的にニーズが高まる半導体の安定供給を支える「動き」の実現に貢献していきます。

半導体ソリューションを提案した現地法人のWEBサイト



Asia Pacific Webサイト



中国WEBサイト

「動く」シーンを 環境に優しく

環境方針

オリエンタルモーターは、地球環境問題が重要課題であることを認識し、事業活動を通して環境の保全に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献します。

1. 気候変動への対応

事業活動における再生可能エネルギーの導入、省エネルギー活動等により、カーボンニュートラル実現に取り組みます。

2. 省資源・資源循環の促進

事業活動での省資源活動と廃棄物削減およびリサイクルに努め、資源循環の取り組みを推進します。

3. 環境に配慮した製品・サービスの提供

製品のライフサイクルにおいて、当社の強み・技術を活かし、環境に配慮した製品・サービスの提供を積極的に推進します。

4. 地域の環境保全・生物多様性

地域社会の環境保護活動ならびに生態系保全に積極的に取り組み、地域社会との共生を図ります。

5. 法令等の遵守

環境関連法規制をはじめとする社会的要求事項を遵守し、環境汚染防止に努めます。

6. 環境教育

環境教育と社員の創意工夫を重視し、さらなる環境負荷低減に努めます。

以上を実現するため、環境マネジメントシステムを構築・運用し、継続的な改善に努めます。
環境活動に関する情報を積極的に開示し、社会とのコミュニケーションを図ります。

制定日：1999年8月6日
改定日：2023年4月1日

Result 2024年度の環境活動実績・パフォーマンス

カーボンニュートラル目標

2050年までに
当社事業活動に伴うCO₂ **排出量ゼロ** を目指します。

2030年までに
CO₂排出量の2013年度比 **50%削減** を目指します。

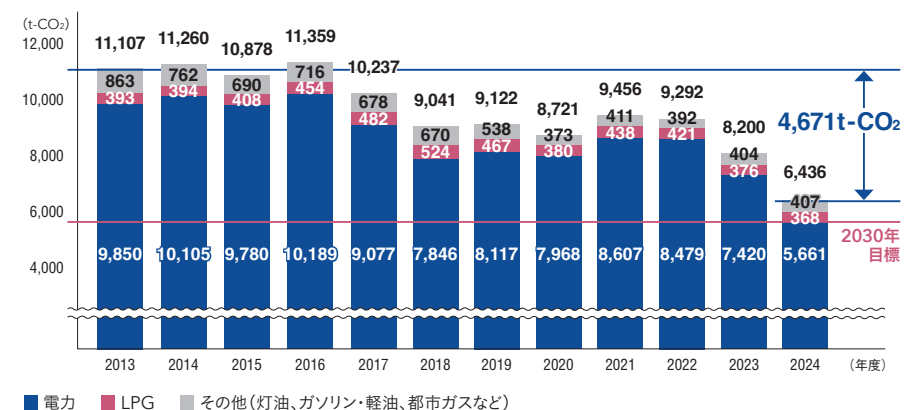
環境活動の目標と実績

	2024年度目標	2024年度実績	2025年度目標
CO ₂ 排出量の削減	CO ₂ 排出量を7,581t-CO ₂ 以下とする	太陽光発電システムの導入や省エネ活動により、CO ₂ 排出量6,436t-CO ₂ となり目標達成	中期目標の2030年に2013年度比50%削減に向け、CO ₂ 排出量を6,289 t-CO ₂ 以下とする
エネルギーの管理	5年度間平均原単位の1%以上の低減を達成する	空調設備や照明の更新を積極的に推進。生産性の向上や省エネ活動などにより、エネルギー効率が向上 5年度間平均原単位の7%低減を達成	5年度間平均原単位の1%以上の低減を達成する
廃棄物の管理	廃棄物削減活動の継続 国内主要生産拠点の廃棄物累計でリサイクル率99.0%以上を維持する	廃棄物の総排出量3,168t(前年度比103%) 国内主要生産拠点の廃棄物累計でリサイクル率99.4%を達成	廃棄物削減活動の継続 国内主要生産拠点の廃棄物累計でリサイクル率99.0%以上を維持する

エネルギー起源 CO₂ 排出量の推移

2024年度CO₂排出量削減(2013年度比) **削減率(2013年度比)**

4,671 t-CO₂削減 **42%**



■ 電力 ■ LPG ■ その他(灯油、ガソリン・軽油、都市ガスなど)
※集計範囲 全拠点(関連会社、営業部門など全て)
※CO₂排出量の算出については環境省・経済産業省の「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」を参照しています。

環境負荷データ

インプット

電力使用量	18,242MWh
LPG 使用量	123t
灯油使用量	76kl
ガソリン・軽油使用量	91kl
水使用量	31,331m ³
紙使用量	23t
容器包装材	695t

オリエンタルモーター
事業活動

アウトプット

CO ₂ 排出量	6,436t-CO ₂
廃棄物総量	3,168t
リサイクル量	3,148t
焼却埋処分量	20t
排水量	25,851m ³

太陽光発電効果まとめ

(高松国分寺・つくば・相馬 累計実績)

発電量

1,655 MWh

太陽光発電比率 **9.1%**

CO₂削減量 **699 t-CO₂**

削減量の比率 **8.3%**

Action 2024 年度の環境活動

オリエンタルモーターは地球環境問題が重要課題であることを認識し、1999 年には環境方針を制定して気候変動への対応や資源循環など、持続可能な社会を目指した取り組みを進めてきました。

そして、ISO 14001 認証を取得し、環境マネジメントシステムを構築・運用しています。環境目標の設定、実施、評価、改善を継続的に行い、環境パフォーマンスの向上を図っています。

気候変動への対応としては、2050 年までに温室効果ガスの排出量をゼロにする「カーボンニュートラル」を実現すべく、中期目標として 2030 年までに 50% 減（2013 年度比）を目指しています。製品においてもエネルギー性能に優れたモーターの開発・提供を通じて、社会、お客様への CO₂ 排出量削減に貢献していきます。

そして、資源の有効活用のため、リサイクル率の維持向上など、資源循環の構築に貢献していきます。

カーボンニュートラルへの取り組み

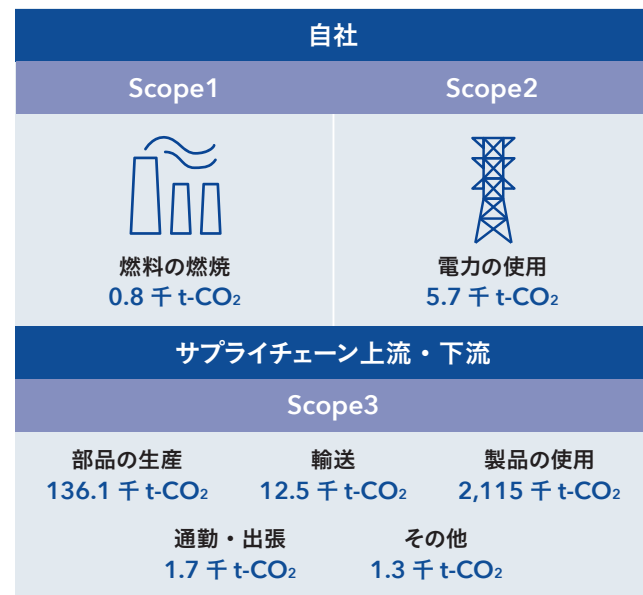
サプライチェーン排出量

2024 年度のサプライチェーン全体の CO₂ 排出量は、2,267 千 t-CO₂ となりました。Scope1 は、0.8 千 t-CO₂、Scope2 は 5.7 千 t-CO₂ となりました。計画を上回る CO₂ 排出量の削減ができています。

Scope3 では、製品使用時での排出量が 2,115 千 t-CO₂ と全体の 93% を占めており、次いで部品の生産の 136 千 t-CO₂、6% となりました。

今後とも自社の Scope1,2 の削減に加え、製品の使用における削減がますます重要になってきます。高効率製品の開発、提供を強化し、お客様の CO₂ 排出量削減に貢献します。

CO₂排出量 (Scope1, 2, 3) 2024年度実績

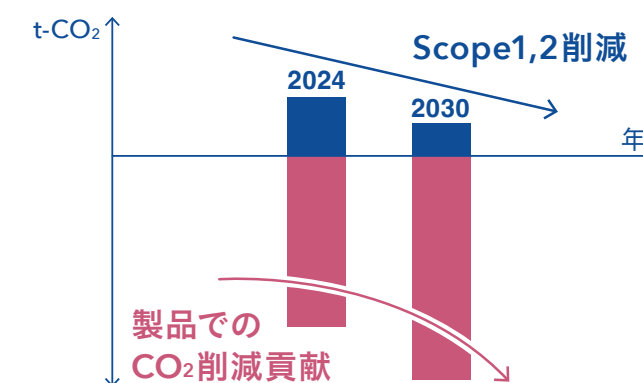


・ Scope1：事業者自らによる温室効果ガスの直接排出（燃料の燃焼、工業プロセス）
・ Scope2：他社から供給された電気の使用に伴う間接排出
・ Scope3：Scope1、Scope2 以外の間接排出（事業者の活動に関連する他社の排出）
15 の Category のうち Category 1,3,4,5,6,7,11 について算定

CO₂削減貢献量

CO₂ 削減貢献量とは、従来使用されていた製品・サービスをより環境に配慮した当社製品・サービスを導入いただくことで、お客様や社会へ貢献する「削減量」のことです。Scope3 の製品使用時の CO₂ 排出量とは異なる指標となり、CO₂ 削減貢献量で、製品使用時の CO₂ 排出量を相殺することとはできないものですが、製品を通じて貢献する証となるものです。

製品を通じたCO₂削減への貢献量



環境配慮製品でのCO₂削減貢献量： 819千t-CO₂

BLV シリーズ、*Q*STEP AZ シリーズなど、従来品より高効率な製品の提供により、2024 年度の CO₂ 排出削減貢献量は、819 千 t-CO₂ となりました。これはモノづくりに直接関わる Scope1,2 の 127 倍となります。



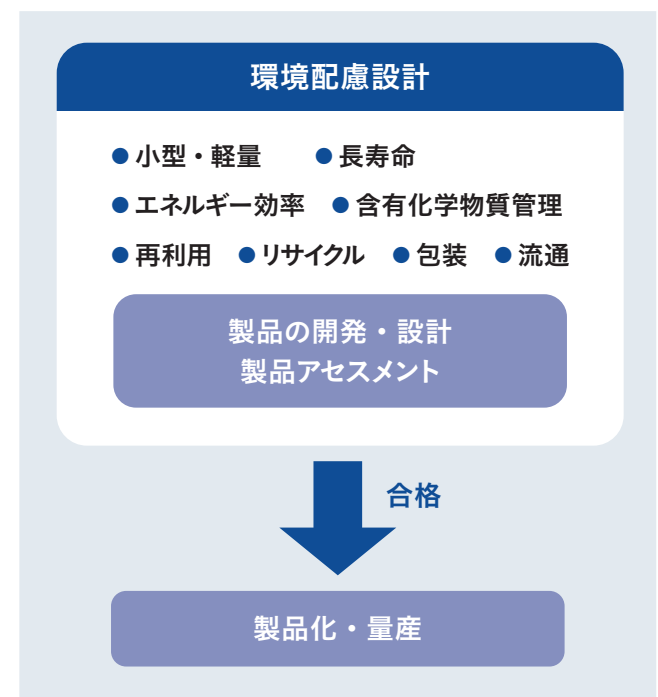
製品での取り組み

環境配慮設計

オリエンタルモーターでは、脱炭素社会の実現に向けて、開発・設計プロセスを取り入れた環境配慮設計（エコデザイン）を推進し、ライフサイクル全体としての環境負荷の低減を進めています。

環境配慮設計の評価指標である製品アセスメントにより、省資源（小型・軽量）、長寿命、エネルギー効率、安心・安全性などの観点から製品の環境への影響を評価し、環境に配慮した製品の開発を進めています。

環境配慮設計を浸透させることで設計者をはじめとする関係部門の環境に対する意識の向上を図っています。



製品含有化学物質の管理

欧州をはじめとした世界各国の環境への取り組みに対する各法規制や社会的要請がますます強まっています。

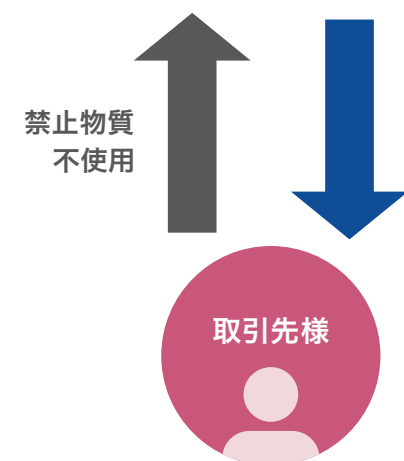
オリエンタルモーターでは各国法規制の動向を監視し、今後規制される可能性の高い物質について早い段階で製品への影響確認を行い、お客様に安心・安全にご使用いただける製品の提供に務めています。

使用する部品や材料の調達では、国際規格 IEC 62474^{※1} に準拠した自社の「グリーン調達基準」を策定し、EU RoHS 指令・EU REACH 規則をはじめとした主要な法規制についての製品含有化学物質を管理しています。

製品の開発設計段階から、取引先様のご協力のもと、構成部品・材料・副資材に含有する化学物質の情報を入手し、社内の「製品含有化学物質管理システム」で情報を管理することで、新たな規制への影響確認やお客様からのお問い合わせに対応しています。

各国の環境法規制

- 各国法規制の動向監視
- 製品含有化学物質管理システム
 - ・ IEC 62474 に準拠した調達基準
 - ・ chemSHERPA^{※2} を利用した含有物質調査
- 蛍光 X 線分析などを用いての定期確認



※1 電気・電子業界の製品に含有する化学物質や構成部品に関するサプライチェーンの情報伝達の手順・内容を規定した国際規格
※2 製品に含有される化学物質の情報をサプライチェーン全体で効率的に伝達することを目的に、経済産業省が主導して開発された情報伝達スキーム

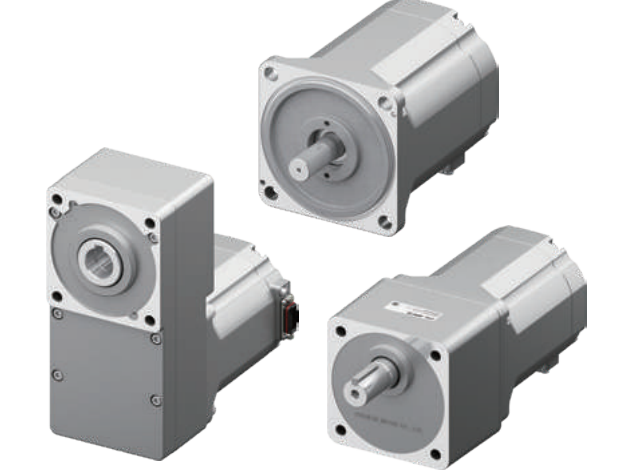
2024 年度 環境に貢献する製品

製品を通じて環境負荷の低減に貢献するため、CO₂ 排出量の削減に貢献できるエネルギー効率の高いモーター、省資源化や廃棄物の削減につながる製品を提供しています。

■ブラシレスモーター (PMモーター) 750 W

ブラシレスモーター750 W (1HP)タイプはローターに永久磁石を使用したPMモーターを採用しています。永久磁石を使用しているため、高効率で小型・軽量です。効率レベルはIE5を達成し、電気料金とCO₂排出量の削減に貢献します。

三相ACモーターと比較して小型・軽量で、組み立て作業者の負担を軽減し、高効率で発熱が少ないためファンレス構造を実現しました。



小型・軽量

モーターサイズを大幅に縮小装置の小型化に貢献

省エネ

IE5 レベルを達成電気料金を削減

低騒音

ファンレスで騒音値低減また、粉塵などの飛散がない

効率クラス IE5達成、省エネで電気料金削減

可変速モーターの効率クラスIE5※を満足するモーターです。電気料金削減、CO₂排出量削減に貢献します。

※国際規格 IEC TS 60034-30-2 に基づく可変速モーター（定格回転速度 1801-6000 r/min）の効率規定値（％）です。

省エネ効果 (1 台の参考値)

750 W のインダクションモーター (IE3) と比較した場合、電気料金、CO₂ 排出量を削減できます。

	消費電力量 (kWh/ 年)	CO ₂ 排出量 (kg -CO ₂ / 年)	電気料金 (円 / 年)
IE3規定値(82.5%)※ インダクション モーター 750W	7,960	3,640	180,600
ブラシレスモーター 750W ＋インバータ	7,400	3,380	167,800

※国際規格IEC 60034-30-1に基づくインダクションモーター(4極 50 Hz)の効率規定値(%)です。
【運転条件】
1日の駆動時間 24h、年間稼働日数 365 日、電力 -CO₂ 排出量換算係数 0.457kg-CO₂/kWh、電力料金 22.68 円 /kWh で算出

消費電力量

560kWh/年の削減

CO₂ 排出量

260kg-CO₂/年の削減

■ECファン EMRシリーズ

ブラシレスモーターを搭載した**EC** ファン **EMR** シリーズは、省エネ・長寿命・低騒音・軽量な特徴を持った、高効率・高性能なファンモーターです。

回転低下アラーム付による装置の信頼性向上や、可変速することでさらなる省エネ・低騒音駆動も可能になります。軽量1台のファンでできるだけ効率よく冷却したい、さらに電気料金などのコストも抑えたいなど課題の解決にも貢献します。



EMR シリーズ採用の効果

ブラシレスモーターを採用することで、従来品に比べ同特性で消費電力を大幅に低減しました。CO₂排出量削減にも貢献します。

	消費電力量 (kWh/ 年)	CO ₂ 排出量 (kg -CO ₂ / 年)	電気料金 (円 / 年)
従来品	438	200	9,930
EMR シリーズ	306	140	6,950

※ EMR2090-A と MRS20-BUL を比較した場合
【運転条件】
1日の駆動時間 24h、年間稼働日数 365 日、電力 -CO₂ 排出量換算係数 0.457kg-CO₂/kWh、電力料金 22.68 円 /kWh で算出

消費電力量

132kWh/年の削減

CO₂ 排出量

60kg-CO₂/年の削減

事業活動での取り組み

事業活動では、気候変動や資源循環といった課題に対し目標設定を行い取り組んでいます。

気候変動対応では Scope1,2 における温室効果ガス排出量の削減について、「2050 年までに事業活動に伴う CO₂ 排出量ゼロ」「2030 年までに CO₂ 排出量の 2013 年度比 50 % 削減」という目標を設定し活動しています。Scope1,2 における温室効果ガスの削減については、省エネ、創エネ、再エネ調達の 3 つの活動を柱に積極的に取り組んでいます。

資源循環では廃棄物の管理においてもリサイクル率 99% 以上を維持という目標を掲げ、99.4%の実績となりました。今後も日々削減に取り組んでいきます。また、プラスチックのサーマルリサイクルからマテリアルリサイクルへの転換にも取り組みました。

化学物質管理においては、社内で使用する化学物質について環境面でも法規制の遵守と使用時、廃棄時における管理に取り組んでいます。

太陽光発電の取り組み

オリエンタルモーターの太陽光発電の取り組みは、東日本大震災後の 2013 年 11 月に相馬事業所に設置した 750 kW の FIT（固定価格買取制度）からスタートしました。

2023 年度は自家消費型太陽光発電システムを3拠点（つくば事業所、相馬事業所、高松国分寺事業所）に設置し、順調に稼働しています。

2024 年度はこれら太陽光発電システムにより、発電電力量 1,655MWh/ 年の電力を供給し、電力使用量の 9.1%を自社の発電で賄いました。

また、CO₂ 排出量を 699t-CO₂/年(全社排出量の 8.3%)削減しました。

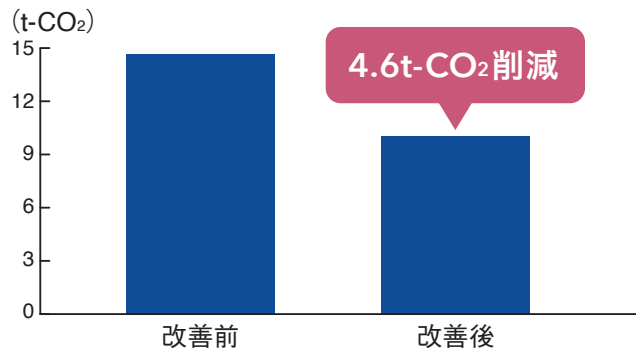
2025 年度以降も高松香西事業所で太陽光発電を設置するなど計画的に再生可能エネルギー電力の導入を推進し、地球環境保護と持続可能な社会の実現に貢献していきます。

省エネ活動

事例1：相馬 塗料循環ポンプ循環速度変更による使用電力、CO₂排出量削減

相馬事業所では、カチオン電着塗装工程での電力使用量の多い塗料循環用ポンプに着目し改善を進めました。塗料の攪拌は生産の有無にかかわらず 24 時間稼働が必要なもので、品質、保全の観点を中心に考慮して運転条件の最適化を図りました。この活動により 9,720kWh/ 年、4.6 t -CO₂/ 年を削減しています。

循環ポンプ速度変更によるCO₂排出量削減



事例2：鶴岡 空調エリアの工夫によるCO₂排出量半減

鶴岡西事業所では、部品置場の空調エリアの見直しを行いました。部品置場は、防錆目的で湿度管理を行う必要があることから、空調は休日含め 24 時間運転しています。

これまで通路に仕切りがなく、空調管理が不要なエリアにも湿度管理された空気が流れていた箇所がありましたが、新たにシートシャッターやビニールカーテンを設置し、必要な場所のみでの空調管理を実施しました。その結果、空調使用電力半減に成功し、12,410kWh/ 年、5.36t-CO₂/ 年を削減できています。



空調使用電力削減のため、ビニールカーテンを設置

人とともに

With People

労働安全衛生方針

オリエンタルモーターは、全ての活動において労働安全衛生が重要課題であることを認識し、安全で心身ともに健康的な職場を提供する「人に優しい企業」として、全員参加で労働安全衛生活動に積極的に取り組みます。

1. 労働安全衛生リスクの低減

全ての活動において、危険個所の低減、5S の徹底、職場環境の整備、防火管理および心身の健康増進活動などを通して、災害および事故の低減に努めます。

2. 全員参加

全ての社員が労働安全衛生課題に積極的に取り組めるように、社員の意見を尊重し、安全衛生委員会を主として情報の共有や協議を推進します。

3. 交通安全活動

交通安全活動の展開により安全運転意識を向上し、業務および通勤時の交通事故防止に努めます。

4. 法令等の遵守

労働安全衛生法をはじめ関連する諸法令および社内基準を遵守します。また、必要な法定資格の取得を推進し、維持発展できる体制を目指します。

5. 労働安全衛生教育

幅広い労働安全衛生教育を通して、課題を遂行できる知識の習得と意識の向上に努めます。

以上を実現するため、労働安全衛生マネジメントシステムを構築・運用し、継続的な改善に努めます。

制定日：2004 年 7 月 7 日
改定日：2023 年 4 月 1 日



安全衛生委員会の活動



障がい者採用課の打ち合わせ

社員とともに

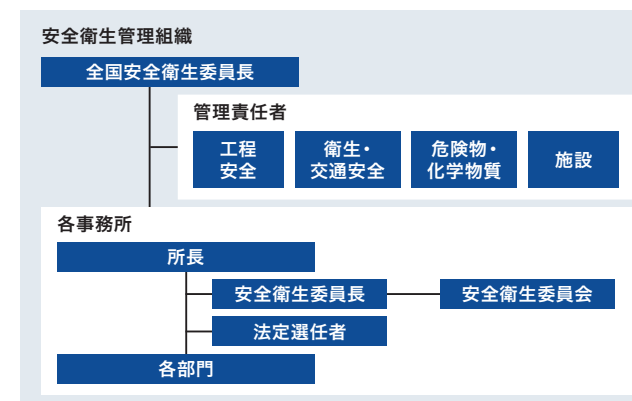
オリエンタルモーターは、社員が生き生きと働ける、安心・安全な職場づくりに取り組んでいます。

生き生きと働くための 職場づくり

労働安全衛生の取り組み

信頼性の高い製品を提供する企業活動の基本は、社員の健康と安全だと考えています。「人に優しい企業」を目指し、全員参加で積極的に労働安全衛生活動に取り組んでいます。

安全衛生推進体制



労働災害

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度
災害件数(休業1日以上)	2 件	3 件	0 件	2 件
度数率※				
オリエンタルモーター (国内関連会社含む)	0.49	0.74	0.00	0.47
(参考)製造業	1.31	1.25	1.29	-
(参考)電気機械器具製造	0.54	0.53	0.54	-

※100万延実労働時間当たりの労働災害による死傷者数(参考)厚生労働省 労働災害動向調査より

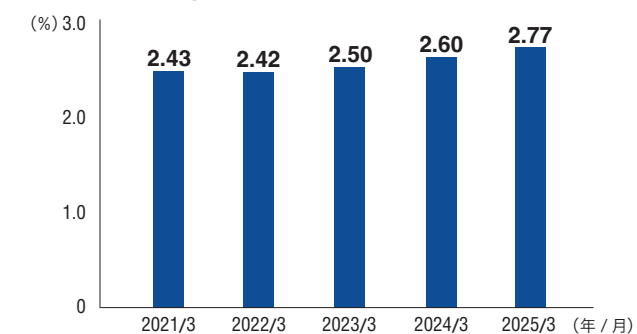
ダイバーシティ&インクルージョンの取り組み

全社にダイバーシティ&インクルージョンの考え方を浸透させ、障がいの有無に関わらず、生き生きと活躍できる職場づくりに取り組んでいます。2026 年度末までに、オリエンタルモーターグループ全体の障がい者雇用率 3%達成を目指し、2024 年 8 月に障がい者雇用推進課を発足しました。採用チャネルの拡大、トライアル雇用の実施、特別支援学校の職場実習受け入れなどの活動の結果、2024 年 3 月末には雇用率 2.77%を達成しています。定着支援の取り組みとして、企業在籍型ジョブコーチのトレーニングを受けた社員が 2 名活躍しています。

女性活躍推進行動計画では、管理職に占める女性の割合は 8.9%を維持しているものの、主任に占める女性の割合は目標の 23%に届きませんでした。2025 年度から 3 年間の新たな行動計画がスタートします。マネジメント力向上とキャリア自律意識の醸成を軸に目標に向けて活動していきます。

▶ 詳細は、P44 コーポレートデータへ

障がい者雇用率





健康セミナー(鶴岡)



健康セミナー(上野)



健康フェア(柏)



健康フェア(相馬)

健康経営

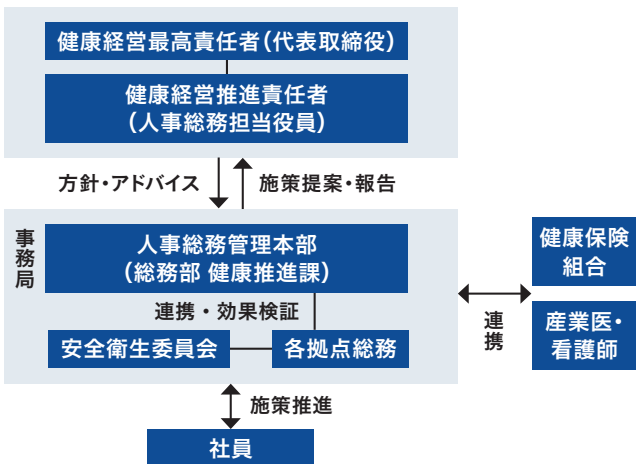
オリエンタルモーター健康経営宣言

オリエンタルモーターは、企業として新たな価値を創造し持続的に成長していくため、生き生きとやりがいをもって一人ひとりが働くことを目的として健康経営を推進し、社員が心身ともに健康かつ快適に働くことのできる職場環境を実現していきます。

2021年10月1日制定
オリエンタルモーター株式会社
代表取締役執行役員社長
健康経営最高責任者
川人 英二

推進体制

オリエンタルモーターは、健康経営最高責任者を代表取締役社長と定め健康経営推進体制を構築し、健康保険組合、産業医、看護師と連携しながら、社員の健康維持と増進を図ります。



健康経営重点項目

今後も重点項目をもとに、健康づくりをより一層推進し必要な施策を行っていきます。

生活習慣病対策

- 定期健康診断の受診 100 %
- 有所見・メタボリックシンドローム該当者への対応（再検査、保健指導の受診促進）

メンタルヘルス対策

- ストレスチェック受検促進
- 各種メンタルヘルス講習・若手向けカウンセリングの実施
- メンタルヘルス施策（社外 EAP 契約、産業医との連携）

喫煙対策

- 受動喫煙対策の促進
- 禁煙イベント、キャンペーンの実施

職場環境の改善と健康意識の向上

- 全社健康データの把握・分析による健康課題の明確化
- 全社的なイベントの実施（ウォーキングなど）
- 所定外労働時間・休暇取得状況の把握および業務効率化・休暇取得推進
- さまざまな健康意識向上活動の展開

感染症への取り組み

- 新型コロナウイルス感染症対策
- インフルエンザ対策 など

健康経営の取り組み

35 歳以上の人間ドック受診、残業・滞留時間管理、ウォーキングキャンペーンの実施、インフルエンザ感染症予防、喫煙率低減活動などの健康施策に取り組んでいます。

生活習慣病対策

35 歳以上の社員には人間ドックの受診を奨励しており、女性向けには婦人科健診を常設しています。健診受診後は、特定保健指導や二次健診受診の受診勧奨を積極的に行い、疾病予防・重症化予防につなげています。

メンタルヘルス対策

入社 1 ～ 2 年目の社員を対象に外部 EAP※によるセルフケア研修・カウンセリングを実施し、対象社員の大多数が参加しました。また、リーダー層には必要に応じてラインケア研修を行い、職場環境改善のきっかけづくりを行いました。

※ EAP=Employee Assistance Program（従業員支援プログラム）の略

ウォーキングキャンペーンの実施

毎年ウォーキングキャンペーンを実施しています。全参加者のランキングを共有できる健康アプリを使用し、2024 年度は参加率 88.9%、目標達成率 94.0%と過去最高となりました。

健康データの活用

健康診断や生活習慣データを分析して、自社の健康状態・課題を明らかにした上でさまざまな施策を展開しています。

健康面における生産性の向上を目指し、社員が健康意識を高められるような環境を整備していきます。

▶ 詳細は、P45 コーポレートデータへ

「健康経営優良法人」に認定

経済産業省と日本健康会議が主催する健康経営優良法人認定制度で、社員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組む法人として 2025 年 3 月「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に 5 年連続で認定されました。

また、関連会社である能代オリエンタルモーターも同時に「健康経営優良法人（中小規模法人部門）[ネクストブライト1000]」に初認定されました。





「共に育つ」人財育成

一人ひとりが役割期待を認識し活躍できるように

2024年度は、新人事制度の運用・浸透の一貫として、社内公募制度を開始しました。望むキャリアに就く機会を提供することで、よりやりがいを感じ安心して長く働ける環境を整えました。階層別教育やキャリア教育では、お互いに学びながら育っていく「共育」の考え方を幹に、自分で考え、課題を解決する力を養うためにさまざまな研究会を実施しました。新人事制度で等級ごとに求められる役割が明確化されたことに伴い、階層別教育の効果をより高めるための見直しも実施。これまで昇給・昇格のタイミングで実施していた「仕事と役割研究会」は、「中堅社員の仕事と役割研究会」と名称を変更し、入社6年目の社員を対象に開催しました。昇給・昇格のタイミングに限らず、入社から5年経過したタイミングで、拠点や職種が異なる同期が集まり、これまでのキャリアを振り返り、お互いに共有することで、一人ひとりが役割期待を認識し次のステップにつながるきっかけを創出しました。

採用活動では、新卒採用と合わせて、新しい価値観や柔軟なアイデアや意見を取り入れ、しなやかで強い体質の組織に進化させていくことを目的に、キャリア採用にも力を入れました。それに伴い、キャリア入社者を対象とした「キャリア入社フォローアップ研究会」を立ち上げました。会社が大切にしている考え方を伝承し、グループディスカッションを通して前職とのギャップを埋めることで、新しい風を吹き込みながら活躍していただけるように背中を押す機会となることを目指しました。同期という概念を持ちづらい部分も、同時期に入社したメンバーが集まることで、人脈形成に役立っています。

鶴岡、相馬での「わくわく社員研究会」の開催

2024年度は、2016年度に鶴岡地区で始めた「わくわく社員研究会」を相馬地区にも展開しました。この研究会は、若手社員が地域の中学校で出前実験教室を行うために、全4回の研究会を通して、自分たちの会社や仕事、モーターについて理解を深めながら、授業内容を考え、伝え方を研究します。鶴岡ではブラシレスモーター、相馬ではステッピングモーターを教材にして、中学生がわくわくしながら、モーターの回転原理を理解できるように、模型を使った説明など、話し方伝え方も工夫しています。研究会を終えた若手社員は一回り成長して、職場で活躍していくのも、この研究会の特長です。

～参加社員の声～

- ・研究会を重ねるにつれて自分自身のモーターについての理解も深まり、良い授業を行うことができた
- ・モーターのことだけでなく、自分の会社を紹介できたことがとても楽しく、中学生にも興味を持ってもらえてうれしかった

～中学生の声～

- ・実験教室を通してモーターのいろいろなことが分かった。オリエンタルモーターで働いてみたい
- ・好奇心を持つことが大切だとわかった。楽しく学ぶことができた

教育体系

	考え方教育	階層別教育	部門別教育	キャリアデザインセミナー	
	オリエンタルモーターのビジネススタイルや風土を継承する	階層（年代）ごとに求められる職場での役割を研究する	各部門（営業・技術・製造）の業務品質アップを目指す	自身のキャリアについて主体的に考える	
管理職	OMI※ 新任部長研究会 OMI 新任課長研究会	変革マネジメント力強化研修 部長研究会 課長マネジメント研究会 オンラインアセスメント 目標チャレンジ研究会 労務管理研究会		キャリアデザインセミナー（管理職）	自己啓発支援
中堅社員		リーダー研究会 オンラインアセスメント 中堅社員の仕事と役割研究会	営業 スキルアップ研究会他 技術 若手技術者勉強会他 製造 全国モノづくり研究会他	キャリアデザインセミナー（30歳、45歳）	
若手社員	キャリア入社フォローアップ研究会 わくわく社員研究会 さわやか新社員研究会	3年目フォローアップ研究会 2年目フォローアップ研究会 新社員フォローアップ研究会	部門別基礎教育		

※OMI=Oriental Motor Institute



出前実験教室(相馬)



出前実験教室(鶴岡)



つくばチャレンジ



クリーンアップ作戦(相馬)

地域社会とともに

オリエンタルモーターは、地域社会の一員として、より豊かな社会の実現に向けて多角的な活動を展開しています。

次世代育成

モノづくりの楽しさを伝える「出前実験教室」

鶴岡中央・西事業所では、2016年から若手社員が講師とTA（ティーチングアシスタント）を務め、地元の中学2年生にモーターの原理や社会とモーターの関わり、オリエンタルモーターのすることについて伝えるブラシレスモーターを使った理科の出前実験教室を開催しています。2024年度は12月と1月に2校の8クラス214名に対し授業を行いました。2024年度は、相馬事業所でも同様に相馬市の中学2年生に対し、ステッピングモーターを使った理科の出前実験教室を初めて開催し、1月と2月に4校11クラス275名に対して授業を行いました。授業内容は、各事業所で若手社員が「わくわく社員研究会」という研究会を通し、約3カ月かけ中学生にわくわくと興味を持ってもらえるよう準備しています。



「つくばチャレンジ 2024」への協賛

つくばチャレンジは、つくば市内の遊歩道など、一般の人がいる日常の市街地で大学や企業が制作した移動ロボットが自律走行を行い、さまざまな課題に挑戦する技術チャレンジです。研究者や地域が協力して行う、先端技術への挑戦と公開実験の場として、2007年より開催されており、オリエンタルモーターでは毎年協賛しています。2022年からオリエンタルモーターの技術者チームも自社製品を使用した自律移動ロボットで参加し、実環境走行で得られたデータを新製品開発や製品改善に役立てています。



「サイエンスキャッスル東京大会」

2024年12月に開催された中高生のための学会「サイエンスキャッスル 2024 東京・関東大会」（主催：株式会社リバネス）に、プロジェクトパートナーとして参画しました。

大学での講義実績

- 筑波大学理工学群「モーターに関する講義」
- 名古屋大学工学部「エネルギー理工学設計および製作」
- 法政大学理工学部「機械プラクティス」



学生の事業所見学

- 将来の地域社会を支える子どもたちへの支援として小中高生を対象とした事業所見学の実施
- 千葉工業大学 産官学連携協議会の活動として事業所見学会を開催



環境保全

より暮らしやすい地域を目指し、地域の清掃活動に参加しています。

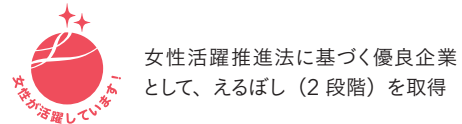
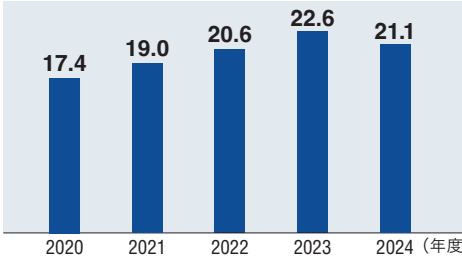
- 原釜尾浜海水浴場 クリーンアップ作戦(福島県相馬市)
- 「第102回 霞ヶ浦・北浦地域清掃大作戦」
- 「富士山環境美化クリーン作戦2024」
- 環境美化デー(茨城県土浦市)
- 鶴岡中央工業団地クリーン作戦(山形県鶴岡市)
- 香西地区 河川・水路一斉清掃(香川県高松市)
- 鶴岡中央工業団地クリーン作戦(山形県鶴岡市)
- たいとうクリーンアップデー(東京都台東区)



コーポレートデータ

非財務ハイライト

主任に占める女性社員の割合 (％)



女性活躍推進法に基づく優良企業として、えるばし（2段階）を取得

仕事と育児の両立支援制度

2024年度育児休業取得率

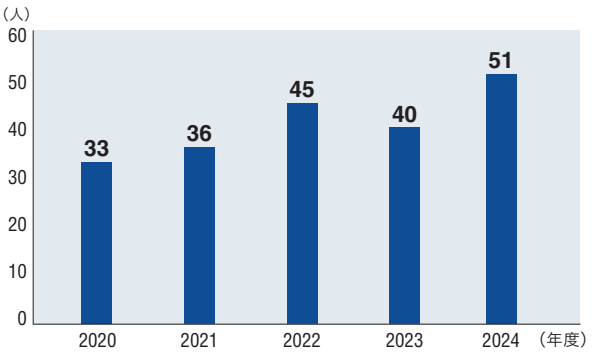
内容	取得率
男性	31%
女性	100%



子育てサポート企業としてプラチナくるみん認定を取得

仕事と介護の両立支援制度

介護休暇申請者



女性活躍推進行動計画結果

計画期間	2022年4月1日～2025年3月31日までの3年間
行動計画目標	① 主任(係長級)に占める女性の割合を 23 %にする (2025年3月現在 21.1%) ② 有給休暇取得率 65 %以上を継続する
取り組み内容	2024 年度に実施した活動 ● 主任・副主任を対象とした研究会の見直しと実施 ● キャリア形成支援のためのセミナーと個別キャリアコンサルティングの実施 ● 誰もが働きやすい職場環境づくり ● 健康経営の取り組みを通した生産性向上の実現
行動結果	主任に占める女性の割合： 21.1 %

仕事と治療の両立支援制度

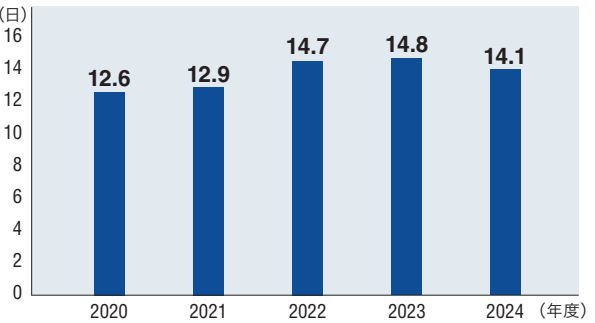
2024年度制度利用者数

内容	利用者数
入院・療養休暇	7人
治療休暇	18人
短時間勤務	0人



「がん対策推進企業アクション」の推進パートナー企業に登録

有給休暇取得日数



健康データ一覧

(年度)					
項目	性別	2021	2022	2023	2025目標
健康診断受診率	男女	100.0 %	100.0 %	100.0%	現状水準維持
要精密検査・要治療	該当率	男女	-	30.6 %	33.8%
	受診率	男女	-	79.4 %	71.8%
特定保健指導該当率(40歳以上)	男女	14.1 %	14.8 %	15.6%	-
特定保健指導受診率(完了率)	男女	17.6 %	28.5%	28.8%	30.0%以上
健康診断データ※1	有所見率	血圧	男女	28.3 %	29.4 %
		血糖	男女	14.9 %	18.2 %
		脂質	男女	30.7 %	29.5 %
	肥満(高BMI) ※BMI 25以上		男	25.6 %	25.4 %
			女	13.2 %	14.9 %

※1 当社が定める以下有所見基準に基づく
血圧：収縮期圧130mm Hg 以上または拡張期圧85mm Hg 以上、150mg/dl 以上、HDL39mg/dl 以下またはLDL140mh/dl 以上
高BMI： BMI25.0 以上
血糖：空腹時血糖110mg/dl 以上またはHbA1c5.9% 以上
脂質：中性脂肪

(年度)					
項目	性別	2022	2023	2024	2025目標
ストレスチェック受検率	男女	100.0%	100.0%	100.0%	現状水準維持
高ストレス該当率※2	男女	10.2%	10.3%	10.0%	10.0%以下
ウォーキングキャンペーン参加率	男女	88.2%	88.9%	88.9%	現状水準維持
喫煙率	男女	18.8%	18.5%	19.4%	11.2%
生活習慣アンケート※1	朝食欠食率	男	21.3%	23.1%	23.1%
		女	14.9%	15.2%	14.6%
	運動習慣がある	男	34.0%	36.6%	36.1%
		女	15.0%	14.7%	16.7%
	睡眠で疲れが取れない	男女	33.0%	32.8%	35.1%
		男	11.7%	12.1%	13.1%
	飲酒習慣率	男	11.7%	12.1%	13.1%
		女	12.5%	12.5%	11.7%

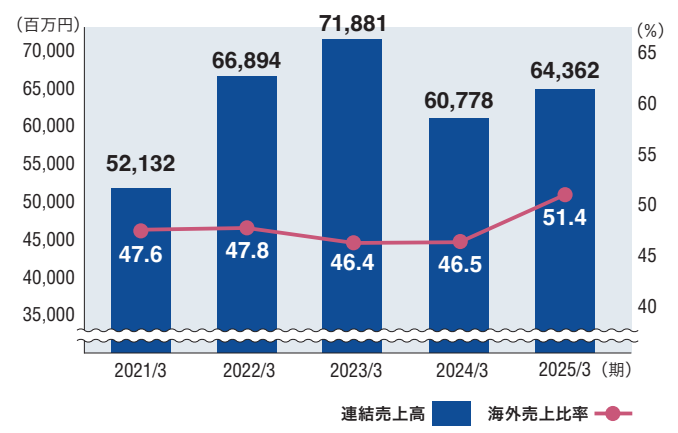
※ 1 厚生労働省 国民健康・栄養調査での算出方法に基づき、アンケートを実施しています。
※ 2 厚生労働省によれば「高ストレス者」と選定される割合は全体の 10% 程度が該当する点数が評価基準が示されています。そのため、高ストレス者の割合 10% は平均的な数値となります。

項目	説明	単位	2022	2023	2024	2025目標
疾病による休職者数(アブセンティーズム)※1	私傷病により休職した人数 (「休職」+「長期欠勤」の合計人数)	人	17人	9人	19人	-
パフォーマンス発揮度(プレゼンティーズム)※2	東大1項目版(SPQ)で測定	%	81.9%	81.8%	82.0%	82.0%以上
仕事いきいき度(ワーク・エンゲージメント)※ 2、3	新職業性ストレス簡易調査票 80問から求めた総合健康度指数	偏差値	50.4	50.6	50.6	51.0以上

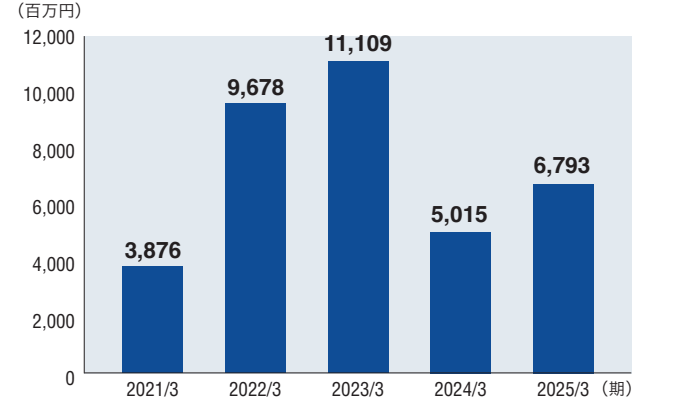
※1 1カ月以上連続した長期欠勤・休職者数 ※2 国内関連会社含む ※3 ワーク・エンゲージメントとストレスの複合的な視点から求めた指数

財務ハイライト

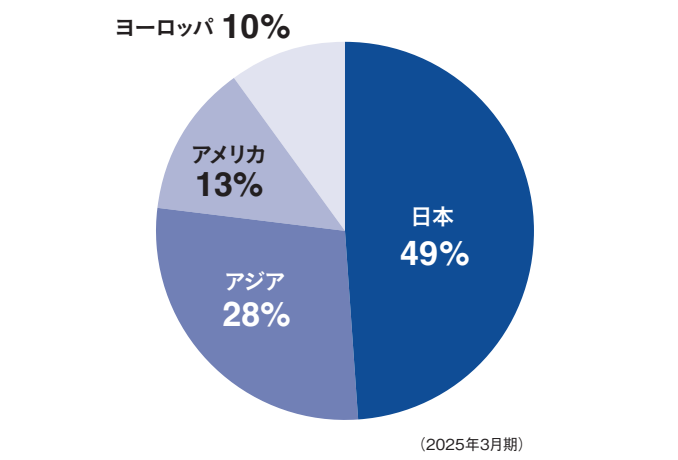
連結売上高・海外売上比率



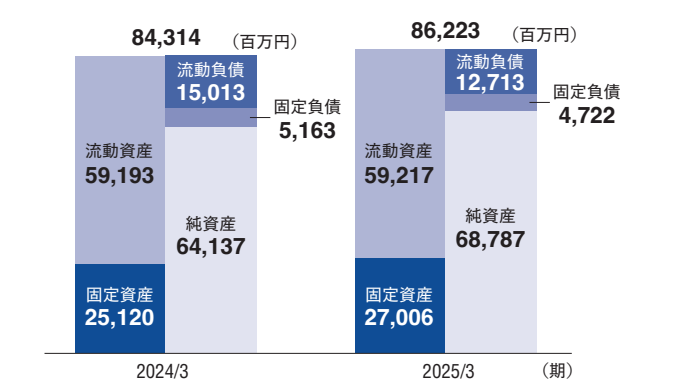
連結営業利益



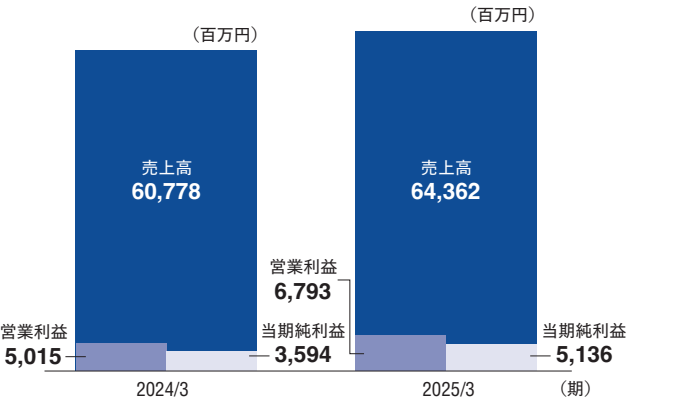
地域別連結売上構成比



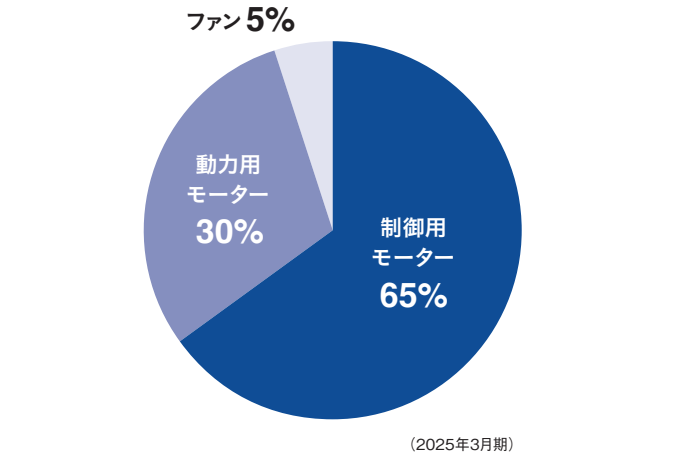
連結貸借対照表の概要



連結損益計算書の概要



事業別連結売上構成比



会社概要

会 社 名	オリエンタルモーター株式会社	資 本 金	41億円
英 文 表 記	ORIENTAL MOTOR CO., LTD.	売 上 高	連結 643億円(2025年3月期)
本 社	東京都台東区東上野 4-8-1	従 業 員 数	3,021人(2025年3月時点)
代 表 者	代表取締役執行役員社長 川人 英二	事 業 内 容	精密小型モーターおよび制御用電子回路などの開発・製造・販売
創 業	1885年	取 引 銀 行	千葉銀行 三井住友銀行 三菱 UFJ 銀行 常陽銀行 百十四銀行 荘内銀行 みずほ銀行
設 立	1950年		

拠点一覧

● 事業所

鶴岡中央事業所
鶴岡西事業所
相馬事業所
つくば事業所
土浦事業所
柏事業所
甲府事業所
高松香西事業所
高松国分寺事業所

● 営業所

東京支社
仙台支店
水戸営業所
北関東支店
南関東支店
諏訪営業所
甲府営業所
名古屋支社
豊田営業所
静岡営業所
金沢営業所
大阪支社
京都支店
滋賀営業所
兵庫営業所
広島営業所
九州支店
熊本営業所

● グループ会社

国内

オリムベクスタ株式会社
第1営業部(東日本)
第2営業部(中部/西日本)
能代オリエンタルモーター株式会社
庄内オリエンタルモーターテック株式会社
酒田工場
酒田第2工場
オリエンタルモーターテック株式会社
相馬テックカンパニー
オリエンタルモータービジネス株式会社

海外

- U.S.A.・カナダ
ORIENTAL MOTOR U.S.A. CORP.
本社・ロサンゼルス / サンノゼ / シカゴ / トロント / ボストン
- ドイツ
ORIENTAL MOTOR (EUROPA) GmbH
本社・デュッセルドルフ / ミュンヘン / ハンブルク / シュトゥットガルト / フランクフルト / ニュルンベルク
- イギリス
ORIENTAL MOTOR (UK) LTD
本社・バーミンガム
- イタリア
ORIENTAL MOTOR ITALIA s.r.l.
本社・ミラノ / ボローニャ / ヴェローナ
- スペイン
ORIENTAL MOTOR (EUROPA) GmbH SPAIN BRANCH
マドリード
- 中国
SHANGHAI ORIENTAL MOTOR CO., LTD.
本社・上海 / 北京 / 大連 / 蘇州 / 杭州 / 広州 / 深圳 / 東莞 / 武漢
XIAMEN ORIENTAL MOTOR CO., LTD.
GUANGZHOU ORIENTAL MOTOR CO., LTD.
SUZHOU ORIENTAL MOTOR CO., LTD.
- 台湾
TAIWAN ORIENTAL MOTOR CO., LTD.
本社・台北 / 台中 / 高雄
- 韓国
INA ORIENTAL MOTOR CO., LTD.
本社・インチョン (仁川) / ソウル / スウォン (水原) / チョナン (天安) / テジョン (大田) / テグ (大邱) / クァンジュ (光州) / プサン (釜山)
- シンガポール
ORIENTAL MOTOR ASIA PACIFIC PTE. LTD.
本社・シンガポール
- マレーシア
ORIENTAL MOTOR (MALAYSIA) SDN. BHD.
本社・クアラルンプール / ペナン
- タイ
ORIENTAL MOTOR (THAILAND) CO., LTD.
本社・バンコク / アユタヤ / チョンブリー
- インド
ORIENTAL MOTOR (INDIA) PVT. LTD.
本社・バンガロール



今年で設立75周年

オリエンタルモーター株式会社 <https://www.orientalmotor.co.jp/ja>
本レポートに関するお問い合わせ先 広報室 TEL.03-6744-0911 FAX.03-5826-2571



25T 3K 25766 U G-138